

令和4年版

消 防 年 報

須賀川地方広域消防組合

は し が き

この消防年報は、令和3年中における広域消防業務と現有消防力全般にわたる事項について集録したものです。

統計等は、令和3年12月31日現在、その他については令和4年4月1日を基準にしております。

令和4年10月

須賀川地方広域消防本部



古殿町 鎌倉岳からの眺望（夕暮れ）



古殿町 流鏝馬



組 合 章

組合章の「い」は岩瀬・石川両地方の頭文字、「す」は須賀川の頭文字を図案化し、円形は団結、翼形は発展向上を示しております。

(昭和50年7月3日制定)

目 次

沿 革

- 1 須賀川地方広域消防組合設立前の常備
消防の沿革 …………… 1
- 2 須賀川地方広域消防組合のあゆみ …… 3

総 務

- 1 須賀川地方広域消防組合の位置 …… 23
- 2 構成市町村の面積・人口・世帯数 …… 23
- 3 執行機関及び議会議員等 …………… 24
- 4 庁舎現況・配置状況 …………… 25
- 5 組 織 …………… 26
- 6 職員配置状況 …………… 27
- 7 職員勤続年数・年齢 …………… 28
- 8 職員研修状況 …………… 29
- 9 職員免許資格等取得状況 …………… 30
- 10 令和4年度一般会計予算 …………… 31

警 防

- 1 消防本部・消防署等配置図…………… 32
- 2 消防車両の現勢…………… 33
- 3 消防機器材の配置状況…………… 35
- 4 応援協定等…………… 36
- 5 市町村別各種災害等出場状況…………… 37
- 6 市町村別消防水利状況…………… 39

火災・救急・救助

- 1 市町村別・火災原因別出火件数 …… 40
- 2 市町村別火災発生状況 …………… 41
- 3 月別火災件数 …………… 43
- 4 市町村別火災発生状況（円グラフ）… 43
- 5 出火率の推移 …………… 44

- 6 市町村別救急事故出場件数 …………… 45
- 7 救急事故月別出場状況 …………… 46
- 8 署所別・市町村別出場状況 …………… 47
- 9 市町村別医療機関搬送状況 …………… 48
- 10 年齢区分別搬送・傷病程度別搬送状況 …… 49
- 11 救急率の推移 …………… 50
- 12 救急用機器材の配置状況 …………… 51
- 13 事故種別救助出動状況 …………… 52
- 14 救助用機器材の配置状況 …………… 53

予 防

- 1 市町村別防火対象物 …………… 55
- 2 市町村別危険物施設 …………… 56
- 3 建築確認同意状況 …………… 57
- 4 市町村別三階以上の建築物棟数 …… 58
- 5 広報・広聴活動実施状況 …………… 59

通信指令





- 1 消防通信施設等 …………… 60
- 2 高機能消防指令センターシステム系統図 …… 61
- 3 通報受付状況 …………… 63
- 4 消防情報センター利用状況 …………… 63
- 5 気象状況 …………… 64





消 防 団





- 1 市町村消防団幹部名簿 …………… 65
- 2 市町村消防団員階級別実員 …………… 66
- 3 市町村消防団員の勤続年数 …………… 67
- 4 市町村消防団員の年齢 …………… 68
- 5 非常備消防力の配備状況 …………… 69





須賀川地方広域消防組合管内の一日統計


令和4年4月1日現在（火災・救急は令和3年中）

面積・人口・世帯・気象	面積	人口	世帯数	気象
	992.77km ² 	127,545人 	49,866世帯 	年平均気温 13.1℃ 年間降雨量 1149.5mm 

予算・機構・人事	消防予算	本部・署・所	職員数	消防団員数
	23億490万円 	消防本部 1 消防署 2 分署 6 分遣所 1 	職員定数 225人 実員 206人 (福島県派遣2名含む) 	団員定数 3,370人 実員 2,557人 

機械・施設	消防ポンプ自動車	特殊車両	救急自動車	消防水利
	ポンプ車 10台 (予備1台含む) タンク車 2台 	はしご車 1台 救助工作車 1台 化学車 2台 (予備1台含む) 水槽車 1台 	12台 (予備2台含む) 	公設消火栓 2,650基 公設防火水槽 951基 その他 209 

火災・救急	火災件数	主な出火原因	救急出場件数	救助出動件数
	建物火災 21件 林野火災 6件 車両火災 4件 その他の火災 10件 合計 41件 	1 枯草焼きたき火等 11件 2 その他 11件 3 風呂かまどボイラー 5件 	5,037件 一日当たり 13.8件 の割合で発生 	50件 

予防	防火対象物数	危険物施設数	立入検査数	消防同意数
	4,179対象物 	578施設 (完成検査済証交付施設)	防火対象物 952件 危険物施設 202件	特殊建築物 46件 一般建築物 73件

沿

革



- ◆昭和30年発足当時の
須賀川市消防本部庁舎
- ◆昭和30年3月
～昭和44年11月
- ◆所在地
須賀川市本町69番地



- ◆昭和48年広域消防へ移行時の
消防本部庁舎
- ◆昭和52年4月まで
- ◆所在地
須賀川市八幡町135番地



- ◆現庁舎
- ◆昭和52年5月から
- ◆所在地
須賀川市丸田町153番地

1 須賀川地方広域消防組合設立前の常備消防の沿革

年 月		記 事	
昭和30. 3	須賀川市	昭和30年3月1日 旧須賀川地区警察署跡を県から借り受け、署長以下21人で須賀川市消防署が開設される。 3月12日 旧第3分団で使用していた1935年式フォード市原ポンプ艀装の消防ポンプ自動車を配置、同日午後5時より実際に望楼、通信勤務を開始する。 3月15日 1955年式トヨタジープ車（105馬力）に大阪森田ポンプ社艀装の消防ポンプ自動車が納入となり、八欧無線製中短波無線機を車載し、移動局1、基地局1で無線業務を開始する。	
	4	〃	旧第4分団に配置されていたシボレー乗用車を改造した消防ポンプ自動車1台を増設する。
昭和32. 4		〃	旧第7分団に配置されていたニッサン消防ポンプ自動車を大阪森田ポンプ社で水槽付（2t）消防ポンプ自動車に改造増設する。
昭和34. 3		〃	職員1人増員、22人となる。
昭和35. 1		〃	シボレー消防ポンプ自動車老朽のため廃車する。
	4	〃	職員1人増員、23人となる。
昭和36. 4		〃	職員1人増員、24人となる。
昭和38. 10		〃	水槽付消防ポンプ自動車を、森田式水槽付（1.8t）消防ポンプ自動車に化学消火剤を装備した1963年式トヨタ消防ポンプ自動車に更新する。
昭和39. 8		〃	須賀川市総務課内にあった消防本部を消防庁舎内（本町69番地）に移設する。
	10	鏡石町	役場職員8人、消防ポンプ自動車1台にて常備消防部を開設する。
	12	岩瀬村	役場職員12人、消防ポンプ自動車1台にて本部班を結成する。
昭和40. 3	須賀川市		職員3人増員、27人となる。
	5	〃	須賀川ライオンズクラブより司令車として1965年式トヨタパブリカバンを寄贈される。
昭和41. 1		〃	1月10日 1966年式ニッサン森田式消防ポンプ自動車を購入し、フォード車を更新する。
昭和42. 7		〃	職員1人増員、28人となる。
	10	〃	10月30日 日本損害保険協会よりトヨタ日機式ジープ型消防ポンプ自動車を寄贈される。
	12	〃	須賀川地区危険物安全協会よりホンダドリーム300cc消火器積載二輪車を寄贈される。
昭和43. 2		〃	須賀川ロータリークラブより救急自動車購入資金として100万円を寄贈される。

	7	須賀川市	職員6人増員、34人となる。
	8	〃	8月5日 消防署開設時購入したトヨタ森田式ジープ型消防ポンプ自動車を第6分団小倉班に配置換えする。
昭和44.	2	〃	2月17日 救急自動車（1943年式トヨタA級）を購入し、隊員5人にて救急業務を開始する。
	11	〃	八幡町135番地に鉄筋コンクリート2階建の消防庁舎が竣工し、移転する。 延べ面積 615.462㎡
昭和45.	4	古殿町	役場職員13人、消防ポンプ自動車1台にて消防業務を開始する。
	10	須賀川市	本部に司令車（1943年式ニッサンプリンスグローリアSD）を配置する。
昭和46.	4	〃	職員1人増員、35人となる。
昭和48.	3	〃	須賀川地方広域消防組合の発足に伴い、須賀川市の消防職員35人全員が地方公務員法第28条第1項第4号の規定により3月31日付で分限退職、須賀川地方広域消防組合職員へ移行するとともに須賀川市消防本部（署）の庁舎及び全機械装備が広域消防組合へ無償譲渡となる。

2 須賀川地方広域消防組合のあゆみ

須賀川・岩瀬及び石川地方の消防組織は、須賀川市の消防署、鏡石町の常備消防部、岩瀬村及び古殿町の役場職員による常備消防組織と、管内各市町村の消防団との並立形態で運営され、各市町村間では相互に消防応援協定を結び、消防活動の合理化に努めてきた。

また、救急業務については、須賀川市で救急自動車1台を配置し救急活動を行っていたが、その他の町村では傷病者を救急隊以外の方法で搬送している状態で、救急体制はまったく零細であった。しかし、国民経済の高度成長による社会情勢の変化に伴い、消防・救急の需要は年々増加の傾向を示し、これに対処できる広域的な常備消防体制の整備を要望する声が高まりつつあった。

昭和46. 7. 14 当地方が、郡山地方広域市町村圏に設定されるや、これを機に積極的に常備消防力の広域化が推進され、当地方においては須賀川市消防本部（署）を中心とした広域常備消防システムの須賀川地方広域消防組合の設立計画が策定される。

昭和47. 12 各市町村の定例議会において広域消防組合設立が議決される。

昭和48. 2. 5 福島県知事に広域消防組合設立許可を申請する。

4. 1 48地第489号をもって設立が許可となり、同日付で須賀川市・岩瀬郡長沼町・鏡石町・岩瀬村・天栄村・石川郡石川町・玉川村・平田村・浅川町及び東白川郡古殿町の1市5町4村で組織する須賀川地方広域消防組合が発足する。

〃 旧須賀川市消防本部（署）庁舎に管理者の手により「須賀川地方広域消防本部」の看板が掲げられ、須賀川市から移管された機械装備と須賀川市から移行した職員35人、新規採用者4人、計39人の消防職員により広域消防の業務を開始する。須賀川市から無償譲渡された消防施設は次のとおりである。

(1) 庁舎	鉄筋コンクリート2階建	延べ面積	615.462㎡
(2) 油庫	コンクリートブロック造		6.19㎡
(3) 消防車両	水槽付（化学装備付）消防ポンプ自動車（トヨタ 森田式）	1台	
	ジープ型消防ポンプ自動車（トヨタ 日機式）	1台	
	消防ポンプ自動車（ニッサン 森田式）	1台	
	救急自動車（トヨタ A級）	1台	
	司令車（ニッサンプリンス グロリアSD）	1台	
	広報連絡車（トヨタ パブリカバン）	1台	
	赤バイ（消火器付ホンダ ドリーム300cc）	1台	
(4) 無線基地局	1局		
	陸上移動局	16局（うち携帯局10局）	計17局
(5) その他	常備消防に供する一切の備品		

4. 20 須賀川地方広域消防組合議会初議会（臨時会）が須賀川市に招集される。
5. 1 石川、長沼両分署業務開始準備のため、職員を各2人配置する。
 - ” 石川分署は石川町役場内に、長沼分署は長沼町梓衝公民館内に事務所を置く。
 - ” 職員2人を採用し実員41人となる。
7. 1 職員20人を採用し、本署において2か月間の新任教養を行う。実員61人となる。
7. 10 職員1人を採用し実員61人となる。
7. 12 特殊無線技士資格取得のため8日間講習会を実施し、38人合格する。
7. 23 石川、長沼各分署に広報連絡車（ニッサン ブルーバードU）を配置する。
8. 1 職員2人を採用し実員63人となる。
8. 31 本署に救急自動車（ニッサン 3 B型）を増車する。
10. 1 職員1人を採用し実員63人となる。
10. 3 石川分署に消防ポンプ自動車（トヨタ 森田式 小型動力ポンプ積載）を配置するとともに職員を10人増員し、計12人で石川町公民館の一室を借り業務を開始する。
11. 13 長沼分署に消防ポンプ自動車（トヨタ 日機式 小型動力ポンプ積載）を配置するとともに職員を8人増員し、計10人で長沼町梓衝公民館の一室を借り業務を開始する。
11. 19 石川分署に救急自動車（トヨタ 2 B型）を配置し、救急業務を開始する。

昭和49. 1. 30 長沼分署庁舎竣工する。

位 置 岩瀬郡長沼町大字木之崎字寺前77-6

敷地面積 993.24㎡

構 造 鉄筋コンクリート造3階建、望楼鉄骨造地上20m

延べ面積 421.43㎡

2. 23 日本道路公団から救急自動車（ニッサン 3 B型）が寄贈され、本署に配置する。

2. 28 石川分署庁舎、鏡石出張所庁舎及び浅川出張所庁舎竣工する。

石川分署

位 置 石川郡石川町字松木下152

敷地面積 1,210.89㎡

構 造 鉄筋コンクリート造3階建、無線塔地上27m

延べ面積 384.50㎡

鏡石出張所

位 置 岩瀬郡鏡石町大字笠石字賀々田19-7

敷地面積 1,574.67㎡

構 造 鉄筋コンクリート造2階建、無線塔地上24m

延べ面積 313.50㎡

浅川出張所

位 置 石川郡浅川町大字浅川字背戸谷地157-4

敷地面積 2,366.73㎡

構 造 鉄筋コンクリート造3階建、望楼鉄骨造地上20m

延べ面積 302.28㎡

3. 25 平田出張所庁舎竣工する。

位 置 石川郡平田村大字鴫子字塚田32

敷地面積 2,377.3㎡

構 造 鉄筋コンクリート造2階建、無線塔地上24m

延べ面積 318.75㎡

4. 1 職員33人を採用し実員96人となる。

〃 平田、鏡石及び浅川各出張所へ職員を各3人配置し、開所準備に入る。

5. 1 平田、鏡石及び浅川各出張所へ職員を各7人増員し、各出張所とも10人にて開所する。

〃 平田、浅川各出張所に消防ポンプ自動車（ニッサン 森田式 小型動力ポンプ積載）を配置する。

〃 鏡石出張所に消防ポンプ自動車（ニッサン 日機式 小型動力ポンプ積載）を配置する。

〃 石川分署に職員を1人増員し13人となる。

〃 長沼分署に職員を1人増員し11人となる。

6. 28 平田、鏡石及び浅川各出張所に広報連絡車（ニッサン スカイラインバン）を配置する。

7. 1 職員25人を採用し実員120人となる。

7. 5 本署に人員輸送兼器具搬送車（トヨタ ハイエースバン）を配置する。

7. 22 日本道路公団から寄贈の救急自動車を本署から長沼分署に配置換えするとともに、救急要員として職員を2人増員し、同分署の人員は13人となり、同時に救急業務を開始する。

9. 9 石川分署に消防ポンプ自動車（ニッサン 日機式）を増車する。

〃 長沼分署に消防ポンプ自動車（ニッサン 森田式）を増車する。

10. 1 石川分署に職員を4人増員し17人、長沼分署に職員を2人増員し15人、平田出張所に職員を2人増員し12人となる。

11. 28 本署、長沼分署及び浅川出張所にゼネラル製望楼用監視テレビジョン装置を設置し、同年12月1日から監視業務を開始する。

12. 17 本署に屈折はしご付消防ポンプ自動車（三菱 森田式 16m）を配置する。

- 昭和50. 2. 24 職員定数条例を改正し定員122人となる。

4. 1 職員3人を採用し実員122人となる。

〃 鏡石、浅川各出張所に職員を各1人増員し各11人となる。

7. 21 本署に広報連絡車（ニッサン スカイラインバン）を増車する。

8. 26 第2回郡山地方行政連絡室管内ポンプ操法大会が須賀川市牡丹台野球場で実施される。

11. 13 平田出張所に救急自動車（トヨタ 1969年式A級）を配置し救急業務を開始する。
- 昭和51. 1. 12 消防本部（消防署）庁舎建築着工する。
2. 20 須賀川中央ライオンズクラブから広報連絡車（トヨタ カラーバン）の寄贈を受け本署に配置する。
3. 31 古殿分遣所庁舎竣工する。
- 位 置 東白川郡古殿町大字松川字横川99-1
- 敷地面積 1,737.0m²
- 構 造 鉄骨造2階建、無線塔地上24m
- 延べ面積 258.09m²
4. 10 古殿町から消防ポンプ自動車（ニッサン 1970年式日造市原式F G60型）の無償譲渡を受ける。
5. 10 古殿町から譲渡を受けた消防ポンプ自動車に小型動力ポンプを積載し古殿分遣所に配置、併せて職員を5人配置し業務を開始する。
6. 17 財団法人日本消防協会から広報連絡車（三菱 ランサーバン）の寄贈を受け、古殿分遣所に配置する。
7. 1 職員2人を採用し実員123人となる。
12. 21 日本損害保険協会から救急自動車（トヨタ 2 B型）の寄贈を受け、同月24日平田出張所に配置する。
12. 23 湯本分遣所庁舎竣工する。
- 位 置 岩瀬郡天栄村大字田良尾字五倫林山4
- 敷地面積 897.71m²
- 構 造 鉄骨造2階建、無線塔地上26m
- 延べ面積 庁舎204.72m² 待機宿舎71.22m²
- 昭和52. 3. 3 職員定数条例を改正し定員142人となる。
3. 30 消防本部（消防署）庁舎竣工する。
- 位 置 須賀川市大字西川字丸田90
- 敷地面積 4,936.35m²
- 構 造 鉄筋コンクリート造3階建、塔屋、鉄塔付き
- 延べ面積 2,083.655m²
- 設 備 消防・救急指令装置（C型）、テレビ監視装置、自家発電設備、
気象観測装置
3. 31 消防本部に防火水槽（93.8m³）完成する。
4. 1 職員12人を採用し実員135人となる。
4. 26 消防本部（消防署）新庁舎に移転し業務を開始する。
5. 1 古殿分遣所に職員を3人増員し8人となる。

- 5. 6 湯本分遣所に消防ポンプ自動車（ニッサン 日機式 小型動力ポンプ積載）及び職員を4人配置し業務を開始する。
- 8. 3 第27回福島県連合水防演習が須賀川市大字西川地内釈迦堂川で実施される。
- 10. 8 湯本分遣所に広報連絡車（スバル レオーネエステートバン）を配置する。
- 10. 29 湯本分遣所に救急自動車（ニッサン 2 B型）を配置し救急業務を開始する。
- 12. 14 本署に小型動力ポンプ付水そう車（三菱 森田式 水槽10t）を配置する。
- 昭和53. 1. 17 石川分署に水槽付消防ポンプ自動車（日野 森田式 水槽2.0t）を配置し、既配置の消防ポンプ自動車（トヨタ 森田式）を本署に配置換えする。
 - 〃 日本自動車工業会から救急自動車（ニッサン 2 B型）が寄贈され本署に配置する。
- 2. 1 職員2人を採用し実員137人となる。
- 2. 28 消防本部の訓練塔及び自家用給油取扱所竣工する。
- 8. 4 本署に広報連絡車（スバル レオーネバン）を配置する。
- 8. 31 消防本部に司令車（トヨタ クラウン）を配置する。
- 9. 27 本署に消防ポンプ自動車（三菱 森田式 CD-II型）を配置する。
- 昭和54. 1. 22 消防本部耐煙訓練棟竣工する。
- 3. 22 須賀川消防情報センター（TEL76-8181＝ハイハイ情報センター）開局し、火災・救急等災害情報の24時間電話サービスを開始する。
- 4. 1 職員5人を採用し実員140人となる。
- 7. 1 古殿分遣所に職員を1人増員し9人、湯本分遣所に職員を1人増員し5人となる。
- 8. 23 第4回福島県消防ポンプ操法競技県中地方大会が石川町民グラウンドで実施される。
- 昭和55. 4. 1 職員定数条例を改正し定員145人となる。
 - 〃 職員2人を採用し実員142人となる。
- 8. 30 財団法人日本消防協会から救急自動車（トヨタ 2 B型）の寄贈を受け本署に配置する。
- 10. 1 長沼分署に職員を2人増員し17人、平田出張所に職員を1人増員し13人となる。
- 10. 8 本署に化学消防ポンプ自動車（三菱 森田式 II型、水槽1.3t、薬液槽0.5t）を配置する。
- 11. 15 鏡石町国土調査に伴う住居表示の変更により、鏡石出張所の位置「鏡石町大字笠石字賀々田19-7」が「鏡石町大字笠石字旭町160」に変更される。
- 12. 15 湯本分遣所待機宿舍増設工事竣工する。
- 昭和56. 4. 1 職員4人を採用し実員145人となる。
 - 〃 福島県消防協会須賀川支部事務局が岩瀬地方町村会事務局から本組合へ移管となる。
- 5. 28 第34回福島県下消防大会が新装となった須賀川市文化センターで開催される。
- 9. 1 昭和56年度福島県総合防災訓練が須賀川市西川地区で開催される。
- 11. 1 4週5休制試行開始

- 昭和57. 3. 20 本署に救助工作車（日野 森田式 II型、フロントウインチ装置5t、クレーン装置2.9t、その他各種救助資器材積載）を配置する。
6. 1 本署から古殿分遣所へ救急自動車（トヨタ 1968年式A級）を配置換えし救急業務を開始する。
8. 13 本署に人員輸送車（三菱 29人乗り）を配置する。
8. 24 財団法人日本消防協会から救急自動車（ニッサン 2B型）の寄贈を受け古殿分遣所に配置する。（同年6月1日古殿分遣所へ配置の救急自動車は本署へ配置換えとなる。）
9. 30 消防本部に小型電子計算機（シャープ PC-3200S型）を配置し、電算による給与計算業務を開始する。
10. 28 本署に救急自動車（ニッサン 2B型）を配置する。
- 昭和58. 8. 23 第6回福島県消防ポンプ操法競技県中地方大会が須賀川市西川運動広場で実施される。
11. 2 社団法人日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（ニッサン GM市原式 BD-I型）の寄贈を受け石川分署に配置する。
11. 22 平田出張所消防無線遠隔制御基地局設置工事竣工する。
- 昭和59. 3. 27 福島県共済農業協同組合連合会から救急自動車（ニッサン 2B型）の寄贈を受け長沼分署に配置する。
3. 28 本署車庫棟増築（建築主体、機械設備、電気設備）工事竣工する。
4. 1 公立岩瀬病院組合から伝染病隔離病舎及び設備、備品を負担附で受け入れ、隔離病舎の運営を開始する。
- 名 称 須賀川地方広域隔離病舎
- 位 置 須賀川市北町20番地
5. 29 石川町国土調査に伴う住居表示の変更により、石川分署の位置「石川町字松木下152」が「石川町字松木下150」に変更される。
10. 22 地方公務員法の一部を改正する法律（昭和56年法律第92号）により定年制度が条例化される。（昭和60年3月31日から施行）
10. 28 4週1回・交替半休制実施
11. 2 須賀川中央ライオンズクラブから広報連絡車（トヨタ カリーナバン）の寄贈を受け本署に配置する。
11. 30 須賀川市における県中都市計画事業、西川土地区画整理事業に係る換地処分公告に伴い、本組合の事務所の位置「須賀川市大字西川字丸田90番地」が「須賀川市丸田町153番地」に変更される。
- 昭和60. 3. 25 石川分署の第2車庫建築工事竣工する。
- 敷地面積 1,386.87㎡
4. 1 職員2人を採用し実員145人となる。
8. 7 須賀川市内に連続放火事件（5件）発生し、7世帯13人被災する。

焼 損 棟 数 6棟 (全焼3棟、半焼1棟、部分焼2棟)

焼 損 面 積 332㎡

損 害 額 合 計 35,095千円

12. 6 本署配置の救急自動車（ニッサン 3 B型）を石川方部の予備車兼人員輸送車として石川分署に配置換えする。

昭和61. 8. 5 昭和61年8月4日・5日の台風10号及びこれから変わった低気圧による大雨により、河川の氾濫、土砂崩れ等管内各所に甚大な被害が発生する。8月7日、須賀川市に災害救助法が適用される。

救助者44人、家屋の損壊21棟、床上浸水605棟、床下浸水586棟

8. 22 全国消防救助技術大会（神戸）で、ロープ登はん（個人）の部において消防士須田勝茂が優勝する。
8. 25 本署に資器材搬送車（スズキ キャリィ軽トラック）及び連絡車（スバル レックスコンビ）を配置する。
9. 29 本署に可搬式送水装置（林野火災用トーハツ TH400M型）を配置する。
11. 22 石川町に連続放火事件（6件）が発生し、7世帯30人がり災、1人が焼死する。

焼 損 棟 数 10棟 (全焼2棟、部分焼8棟)

焼 損 面 積 682㎡

損 害 額 合 計 93,046千円

昭和62. 1. 1 消防本部・消防署の組織機構の改革を実施し、通信指令室を消防署から消防本部警防課所管とし、体制を一部改称する。

〃 須賀川消防署石川分署を石川消防署に昇格、職員を1人増員し18人となる。さらに、平田、浅川両出張所及び古殿分遣所を従来の須賀川消防署から石川消防署に管轄変更するとともに、古殿分遣所を古殿出張所に昇格させる。

1. 30 浅川出張所に消防ポンプ自動車CD-I型（三菱 キャンター）1台を配置する。
4. 2 職員1人を採用し実員145人となる。
4. 30 天栄村大字牧之内字権太倉地内の林野火災で国有林7haを焼損する。
5. 5 異常小雨による濁水のため水道断水し、水そう車給水出動する。（須賀川市断水世帯1,929戸）
5. 10 4週6休制試行開始
5. 26 須賀川消防署第2車庫に展示室竣工する。
7. 14 集中豪雨により管内各所（須賀川市、天栄村、平田村）に水害が発生する。
- 床上浸水 18棟
- 床下浸水 151棟
8. 21 第8回福島県消防ポンプ操法競技県中地方大会が石川町レークサイドグラウンドで実施される。

10. 30 石川消防署に救助器具搬送車（いすゞ エルフルートバン）を配置し、救助業務を開始する。
11. 5 職員にB型肝炎予防ワクチン接種を開始する。（145人中104人接種）
- 昭和63. 4. 1 古殿出張所に職員を1人増員し10人となる。
7. 1 消防本部組織の一部を改正し、警防課施設係を施設管理係に名称変更し、総務課所管となる。
- 平成元. 3. 31 職員の年齢構成是正策による職員の構成市町村への割愛人事が始まる。（初年度2人須賀川市へ割愛）
4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員3人を採用し実員145人となる。
- 〃 石川消防署に職員を1人増員し19人、古殿出張所に職員を1人増員し11人とし、平田出張所を2人減員し11人となる。
- 〃 須賀川消防署から鏡石出張所に救急自動車（トヨタ 1985年式2 B型）を配置換えし、救急業務を開始する。
4. 2 4週6休制実施
7. 12 浅川出張所に救急自動車（トヨタ 2 B型）を配置し、救急業務を開始する。
- 平成2. 3. 31 職員の年齢構成是正策による職員の構成市町村への割愛人事6人実施。（須賀川市2人、岩瀬村1人、石川町1人、平田村1人、古殿町1人）
4. 1 職員7人を採用し実員144人となる。
5. 11 第43回福島県下消防大会が須賀川市文化センターで開催される。
- 平成3. 3. 31 職員の年齢構成是正策による職員の構成市町村への割愛人事4人実施。（長沼町1人、鏡石町1人、天栄村1人、浅川町1人）
4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員9人を採用し実員146人となる。
- 〃 消防本部を1人減員し22人となる。
- 〃 職員定数条例を改正し定員169人となる。
8. 30 平成3年度福島県総合防災訓練が須賀川市文化センター周辺で開催される。
9. 13 第10回福島県消防ポンプ操法競技県中地方大会が須賀川市西川スポーツ広場で開催される。
10. 1 須賀川消防署に職員を2人増員し37人、湯本分遣所に職員を1人増員し6人、石川消防署に職員を1人増員し20人となる。
- 平成4. 3. 25 福島県共済農業協同組合連合会から救急自動車（ニッサン 2 B型）の寄贈を受け石川消防署に配置する。
3. 31 職員年齢構成是正策による職員の構成市町村への割愛人事1人実施。（玉川村）
4. 1 職員8人を採用し実員150人となる。
- 〃 須賀川消防署を2人減員し35人、長沼分署を1人減員し16人、石川消防署を1人減員し19人となる。

8. 26 財団法人日本消防協会から指揮広報車（ニッサン ブルーバード）の寄贈を受け消防本部に配置する。
9. 4 財団法人日本防火協会から防火広報車（いすゞ ファーゴ）の寄贈を受け消防本部に配置する。
10. 1 須賀川消防署に職員を4人増員し39人、長沼分署に職員を2人増員し18人、石川消防署に職員を2人増員し21人となる。
- 平成5. 3. 12 玉川派出所庁舎新築工事竣工する。
- | | |
|------|------------------|
| 位 置 | 玉川村大字北須釜字森殿25-3 |
| 敷地面積 | 2,720.74㎡ |
| 構 造 | 鉄筋コンクリート一部鉄骨造平屋建 |
| 延べ面積 | 277.91㎡ |
3. 16 消防緊急通信指令施設業務開始
3. 20 福島空港開港
4. 1 玉川派出所に消防ポンプ自動車CD-I型（三菱 森田式）及び救急自動車（トヨタ 2B型）を配置し、須賀川消防署から日中のみ職員4人を派出し業務を開始する。
- 〃 職員12人を採用し実員162人となる。
5. 20 組合設立20周年式典が実施される。
10. 1 須賀川消防署に職員を3人増員し41人、湯本分遣所に職員を1人増員し7人、平田・浅川・鏡石・古殿各出張所に職員を各1人増員しそれぞれ12人となる。
11. 18 自治体消防45周年記念大会が東京都で開催される。
- 平成6. 1. 1 週休2日制を施行する。
3. 9 鏡石出張所事務室改装工事竣工する。
4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員7人を採用し実員166人となる。
- 〃 消防本部組織の一部を改正し、警防課通信指令室を通信指令課に昇格し3課体制とする。
- 〃 郡界変更により東白川郡古殿町が石川郡に編入される。
6. 30 緊急通信指令施設の設置に伴う消防無線中継所の設置により、平田出張所消防無線遠隔制御基地局を撤去する。
9. 9 須賀川信用金庫から救急自動車（トヨタ 2B型）の寄贈を受け須賀川消防署に配置する。
10. 1 須賀川消防署に職員を4人増員し45人、長沼分署に職員を1人増員し19人、石川消防署に職員を2人増員し22人となる。
10. 20 石川消防署に水槽付消防ポンプ自動車II型（いすゞ フォワード 水槽2.0t）1台を配置する。
- 平成7. 4. 1 職員定数条例を改正し定員225人となる。

- 4. 1 職員8人を採用し実員172人となる。
 - 〃 須賀川消防署を1人減員し44人、長沼分署を2人減員し17人とし、湯本分遣所に職員を1人増員し8人となる。
 - 10. 1 須賀川消防署に職員を1人増員し45人、長沼分署に職員を1人増員し18人、石川消防署に職員を1人増員し23人、各出張所に職員を1人増員し13人となる。
 - 10. 6 須賀川消防署にはしご付消防自動車（日野 森田式 30m）1台を配置する。
 - 10. 12 須賀川消防署に消防ポンプ自動車C D－Ⅱ型（三菱 ファイター）1台を配置する。
 - 10. 30 国内における地震等の大規模災害（災害が発生した市町村の属する都道府県内の消防力をもってしては、これに対処できない災害）の発生に際し、消防庁長官の要請に基づく被災地の消防応援のため福島県緊急消防援助隊が発足され、本組合は、消火部隊1隊、特殊部隊（10 t 水そう車）1隊が編成される。
 - 11. 8 第11回福島県防火大会（参加者約1,000人）が須賀川市文化センターで開催される。
 - 11. 29 須賀川消防署に放射線防護服3着を配置する。
- 平成8.
- 4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員11人を採用し実員182人となる。
 - 7. 19 須賀川消防署に搬送車（ホンダ アクティ）1台を配置する。
 - 9. 30 救急業務高度化推進委員会を設置する。
 - 10. 1 通信指令課に職員を1人増員し10人、須賀川消防署に職員を3人増員し48人、石川消防署に職員を2人増員し25人、長沼分署に職員を1人増員し19人、各出張所に職員を1人増員し各14人となる。
 - 12. 26 須賀川消防署に高規格救急自動車（いすゞ スーパーメディック）1台を配置する。
 - 〃 須賀川消防署に水槽付消防ポンプ自動車（三菱 ファイター 水槽1.5t）1台を配置する。
- 平成9.
- 3. 1 須賀川消防署に救急救命士5人を配置し、高規格救急自動車（いすゞ スーパーメディック）の運用を開始する。
 - 3. 24 福島総合警備保障株式会社から広報連絡車（トヨタ カルディナバン）の寄贈を受け消防本部に配置する。
 - 4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員5人を採用し実員185人となる。
 - 〃 須賀川消防署を2人減員し46人、石川消防署を1人減員し24人となる。
 - 7. 25 須賀川消防署に膨張式テント（東洋ゴム㈱製エアータント T A T 400）一式を配置する。
 - 9. 7 鏡石出張所に救急自動車（トヨタ 2 B型）1台を配置する。
 - 10. 1 須賀川消防署に職員を1人増員し47人、石川消防署に職員を1人増員し25人、鏡石出張所に職員を1人増員し15人となる。
- 平成10.
- 3. 7 自治体消防制度50周年記念式典が東京都で開催される。
 - 3. 15 福島県・自治体消防50周年記念式典が須賀川市文化センターで開催される。

3. 26 長沼分署新庁舎竣工する。

位 置 長沼町大字梓衝字上南47
敷地面積 2,911.81㎡
構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建
延べ面積 846㎡

〃 長沼分署新庁舎に移転し業務を開始する。

4. 1 職員6人を採用し実員189人となる。

〃 鏡石出張所を1人減員し14人となる。

〃 福島県消防協会石川支部事務局が石川地方町村会事務局から本組合へ移管となる。

〃 自動車電話・携帯電話等からの119番通報受付業務を開始する。

8. 27 集中豪雨により管内各所の住家等に甚大な被害が発生する。

全 壊 1棟 (1世帯4人)
半 壊 2棟 (2世帯7人)
一部損壊 22棟 (21世帯85人)
床上浸水 193棟 (190世帯728人)
床下浸水 145棟 (145世帯574人)
救 助 者 101人

〃 消防相互応援協定に基づき、白河市の集中豪雨による水害等救助に救助工作車 (4人) 応援出動する。

10. 1 消防本部警防課に職員を1人増員し7人、須賀川消防署に職員を2人増員し49人、石川消防署に職員を2人増員し27人、湯本分遣所に職員を1人増員し9人となる。

〃 田村地方町村衛生処理組合 (6町1村) の伝染病隔離病舎に関する事務を受託する。

11. 9 須賀川消防署に資器材搬送車 (三菱FUSO キャンター4WD 3t車) を配置する。

12. 1 須賀川消防署にアルミボート1艘 (シーニンフ14R) 及び船外機2台 (マーキュリー製 9.9PS1台、25PS1台) を配置する。

12. 10 須賀川消防署に小型動力ポンプ付水そう車 (三菱 スーパーグレート 水槽10t) 1台を更新配置する。

平成11. 3. 31 伝染病予防法に基づき設置された須賀川地方広域隔離病舎が、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に伴い、市町村の設置義務から都道府県知事の指定行為に変更され廃止となる。

4. 1 職員4人を採用し実員192人となる。

〃 消防本部警防課に救急救助係を新設するとともに職員を1人増員し8人となる。

〃 福島県共済農業協同組合連合会から救急自動車 (トヨタ 2B型) の寄贈を受け浅川出張所に配置する。

6. 4 第52回福島県下消防大会が須賀川市文化センターで開催される。

8. 6 浅川出張所に広報連絡車（トヨタ スプリンター）1台を配置する。
10. 1 須賀川消防署に職員を2人増員し49人、石川消防署に職員を2人増員し27人となる。
 // 須賀川地方広域隔離病舎を公立岩瀬病院組合に譲与する。
10. 18 長沼分署及び平田出張所に消防ポンプ自動車CD-I型（三菱 キャンター）1台をそれぞれ更新配置する。
12. 31 翌平成12年1月1日にかけて、須賀川地方広域消防組合コンピュータ西暦2000年問題危機管理計画に基づき警戒体制を敷く。
- 平成12. 3. 30 アスター工業株式会社から救急自動車（ニッサン 2B型）の寄贈を受け、古殿出張所に配置する。
4. 1 須賀川地方広域消防組合コンピュータ西暦2000年問題危機管理計画に基づく警戒体制を解除する。
 // 職員5人を採用し実員194人となる。
7. 31 放射線測定器（理研計器㈱レムガードRD-2E-PL一式及びアロカ㈱ポケットPDM-112）一式を須賀川消防署に配置する。
8. 9 須賀川消防署に救急自動車（トヨタ 2B型）1台を、鏡石出張所に広報連絡車（ニッサン ウィングロードADバン）1台をそれぞれ配置する。
9. 21 須賀川消防署に膨張式テント（東洋ゴム㈱製エアータントTAT600）一式を配置する。
10. 1 消防本部通信指令課に職員を1人増員し11人、須賀川消防署に職員を3人増員し52人、石川消防署に職員を1人増員し27人となる。
12. 11 石川消防署に高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）1台を配置する。
12. 18 石川消防署配置の救急救命士4人をもって高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）の運用を開始する。
 // F I T（福島県・茨城県・栃木県）消防防災航空隊合同訓練を母畑ダム周辺において、大規模林野火災を想定し実施する。
- 平成13. 1. 1 鏡石町国土調査に伴う住居表示の変更により、鏡石出張所の位置「鏡石町大字笠石字旭町160」が「鏡石町旭町160」に変更される。
4. 1 須賀川市から職員1人派遣、職員3人を採用し実員196人となる。
7. 6 須賀川市大字大栗地内（テクニカルリサーチガーデン敷地内）を会場にジャパンエキスポ2001「うつくしま未来博」が秋篠宮殿下、妃殿下紀子さまをお迎えし開会となり、福島県（うつくしま未来博協会）との警備協定により現地消防警備を開始する。（職員3人、消防ポンプ自動車及び救急自動車各1台を常駐配置）
8. 1 古殿出張所に広報車（ホンダ パートナー）1台を更新配置する。
9. 1 潜水士免許有資格者8人、潜水資器材8基をもって「潜水隊」を発足する。
9. 27 玉川派出所及び長沼分署に救急自動車（トヨタ 2B型）1台をそれぞれ更新配置する。
9. 30 ジャパンエキスポ2001「うつくしま未来博」が閉会し、現地消防警備を終了する。

10. 26 須賀川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
11. 1 定年退職した職員を最長65歳まで再任用する、新たな再任用制度を導入する。
 // 消防本部消防緊急通信指令システム地図検索装置を富士通ゼネラルとの賃貸借契約により更新整備し、正式運用を開始する。
- 平成14. 4. 1 職員4人を採用し実員196人となる。
 // 本組合消防組織機構の改革により、消防本部に予防課を新設し、通信指令課を警防課に統合、また、消防署の下に設置の出張所を分署に名称更新し、時代の変化とニーズに対応する組織体制の再編を図る。
8. 1 須賀川消防署に広報車（ホンダ パートナー）1台を、湯本分遣所に広報車（三菱 エアトラック）1台をそれぞれ更新配置する。
8. 30 平成14年度福島県総合防災訓練が須賀川市立第二小学校及び須賀川市民スポーツ広場周辺を会場に開催される。
- 平成15. 3. 25 鏡石町中心住宅地で19件の連続放火が発生し、「放火対策本部」を設置するとともに鏡石分署を増強し緊急事態に備える。（4月17日被疑者逮捕により解決する。）
4. 1 職員3人を採用し実員197人となる。
 // 消防庁の定める服制基準の改正並びに本組合の行財政改革の一環として、組合設立30周年を機に、被服等給貸与規則及び消防職員服装規程を改正し、服制の大幅な見直しを図る。
8. 8 須賀川消防署に人員輸送車（三菱 ローザ 29人乗り）1台を更新配置する。
10. 1 組合設立30周年記念誌を発行する。
11. 7 須賀川地方危険物安全協会から広報連絡車（トヨタ サクシード）の寄贈を受け、消防本部に配置する。
11. 20 自治体消防55周年記念大会が東京都で開催される。
12. 1 消防行政情報の増大化・多様化に対応するため、消防本部及び各署所間のネットワークを構築し、事務の電子化・効率化を図る。
12. 12 化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野 レンジャー 水槽1.5t 薬液槽0.5t 国庫補助事業）1台を須賀川消防署に更新配置する。
- 平成16. 1. 1 住民へ幅広く情報提供するため、職員手作りによる組合公式ホームページを開設する。
4. 1 職員4人を採用し実員196人となる。
 // 長沼分署の救急自動車（トヨタ 2B型）に高規格救急資器材を搭載し、同分署に救急救命士4人を配置する。
9. 7 消防本部に司令車（トヨタ プリウス）1台を更新配置する。
10. 8 石川消防署に広報連絡車（トヨタ エスティマハイブリッド）1台を更新配置する。
10. 23 10月23日17時56分発生した新潟県中越地震に、須賀川地方広域消防本部緊急消防援助隊5人（特殊装備部隊3人、後方支援部隊2人）が出動する。

11. 19 須賀川信用金庫から救急自動車（トヨタ 2B型）の寄贈を受け須賀川消防署に配置する。
- 平成17. 2. 15 消防本部に指揮広報連絡車（トヨタ エスティマハイブリッド）1台を更新配置する。
3. 22 須賀川消防署に救助工作車Ⅱ型（日野 森田式 フロントウィンチ5t、リヤウィンチ10t、クレーン装置2.9t、その他各種救助資器材積載 国庫補助事業）を配置する。
4. 1 職員3人を採用し実員196人となる。
- 〃 市町村合併により長沼町及び岩瀬村が須賀川市へ編入合併し、組合構成市町村が1市4町3村となる。
- 〃 市町村合併に伴う組合格約改正により、組合議会議員定数が24人から22人（須賀川市7人、鏡石町2人、天栄村2人、石川町3人、玉川村2人、平田村2人、浅川町2人、古殿町2人）に改められる。
8. 1 鏡石分署に高規格救急自動車（ニッサン パラメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。
10. 1 鏡石分署に救急救命士4人を配置し、高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）の運用を開始する。
11. 21 浅川分署に消防ポンプ自動車CD-I型（トヨタ ダイナ 国庫補助事業）1台を更新配置する。
12. 16 鏡石分署に水槽付消防ポンプ自動車I-B型（日野 レンジャー 水槽1.5t 国庫補助事業）1台を更新配置する。
- 平成18. 3. 22 鏡石分署車庫改造工事竣工する。
4. 1 職員3人を採用し実員196人となる。
- 〃 予防技術資格者制度が創設され、本組合において12人を認定する。
10. 3 FITNG（福島県・茨城県・栃木県・新潟県・群馬県）消防防災航空隊合同訓練を羽鳥湖周辺において実施する。
12. 13 石川消防署に救助用資器材搭載CD-I型消防ポンプ自動車（トヨタ ダイナ）1台を更新配置する。
- 平成19. 4. 1 職員5人を採用し実員194人となる。
- 〃 高機能消防指令センター（Ⅱ型）を更新導入し運用を開始する。
5. 8 古殿町において食品工場火災が発生する。
- 焼損棟数 1棟（全焼）
- 焼損面積 3,759㎡
- 傷 者 1人
- 損 害 額 524,874千円
7. 19 須賀川消防署に業務連絡車（トヨタ ハイエース）1台を更新配置する。
10. 1 地球温暖化対策の推進に関する温室効果ガスの排出削減計画書を策定する。

10. 26 須賀川消防署に指揮車（トヨタ ハイエース）1台を更新配置する。
 // 古殿分署に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ）1台を更新配置する。
11. 30 石川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイエース）1台を更新配置する。
- 平成20. 3. 7 自治体消防制度60周年記念式典が東京都で開催される。
4. 1 職員7人を採用し実員195人となる。
5. 23 第61回福島県消防大会が須賀川市文化センターで開催される。
6. 14 6月14日8時43分発生した岩手宮城内陸地震に須賀川地方広域消防本部緊急消防援助隊5人（特殊装備部隊3人、後方支援部隊2人）が出動する。
7. 24 7月24日0時26分ごろ発生した岩手県沿岸北部を震源とする地震に須賀川地方広域消防本部緊急消防援助隊5人（特殊装備部隊3人、後方支援部隊2人）が出動する。
11. 20 湯本分遣所に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ）1台を更新配置する。
12. 4 須賀川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
- 平成21. 4. 1 職員8人を採用し実員192人となる。
 // 古殿分署に救急救命士4人を配置する。
7. 1 携帯電話とIP電話等からの緊急通報時における「発信位置情報通知システム」を導入し、運用を開始する。
10. 26 古殿分署に高規格救急自動車（ニッサン パラメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。
10. 27 長沼分署に高規格救急自動車（ニッサン パラメディック）1台を更新配置する。
- 平成22. 4. 1 職員8人を採用し実員197人となる。
 // 平田分署に救急救命士4人を配置する。
9. 29 9月29日16時59分に発生した天栄村湯本地区を震源とするマグニチュード5.8、震度5弱の地震により、住家及び国道等に甚大な被害が発生し、湯本分遣所庁舎にも壁体の大規模な亀裂等甚大な被害が発生する。
- 半 壊 2棟
 一部損壊 99棟
10. 14 アステラス製薬株式会社から高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台の寄贈を受け平田分署に更新配置する。
 // 玉川派出所に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
- 平成23. 2. 23 平成22年9月29日の地震により被災した湯本分遣所庁舎補修工事竣工する。
3. 11 3月11日14時46分に発生した太平洋三陸沖を震源とするマグニチュード9.0、震度7（管内最大震度6強）の東北地方太平洋沖地震により、管内各所で未曾有の被害が発生する。また、この地震により須賀川市藤沼貯水池の堤防が決壊し大規模な水害が発生する。（東日本大震災）

※管内の被害状況（令和4年4月1日現在）

全 壊	1,495棟
半 壊	4,531棟
一部損壊	18,881棟
床上浸水	32棟
床下浸水	30棟
死 者	15人
負 傷 者	16人

3. 25 東日本大震災により被災した消防本部庁舎鉄塔解体撤去工事竣工する。
4. 1 東日本大震災災害対応等のため職員6人を勤務延長、職員6人を採用し実員199人となる。
5. 1 職員6人の勤務延長が終了し実員193人となる。
〃 浅川分署に救急救命士4人を配置する。
7. 1 全国消防長会から消防ポンプ自動車CD-I型（三菱 キャンター）1台の無償譲渡を受け、石川消防署に配置する。（東日本大震災による寄贈）
8. 8 消防本部に広報連絡車（ニッサン ウィングロード）1台を更新配置する。
9. 7 東日本大震災により被災した浅川分署塔屋解体及びペントハウス屋根架け工事竣工する。
9. 14 東日本大震災により被災した消防本部塔屋解体及び塔屋1階改修工事竣工する。
9. 21 台風15号により管内各所に水害が発生する。
一部損壊 4棟
床上浸水 363棟
床下浸水 206棟
9. 30 平田分署に広報連絡車（トヨタ サクシード）1台を更新配置する。
12. 1 浅川分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を、湯本分遣所に救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台をそれぞれ更新配置する。
- 平成24. 3. 28 全国共済農業協同組合連合会福島県本部から高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台の寄贈を受け須賀川消防署に更新配置する。
3. 30 須賀川消防署に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ）1台を更新配置する。
4. 1 職員16人を採用し実員196人となる。
〃 組合規約改正により、組合管内町村長7人全員が副管理者へ、組合議会議員定数が22人から14人（須賀川市6人、鏡石町1人、天栄村1人、石川町2人、玉川村1人、平田村1人、浅川町1人、古殿町1人）へ改められる。
9. 12 石川消防署に広報連絡車（ニッサン バネットバン）1台を更新配置する。
12. 25 消防本部庁舎耐震改修工事竣工する。
- 平成25. 4. 1 職員15人を採用し実員201人となる。

- 4. 1 消防本部予防課の係を予防係及び危険物係から予防保安係及び査察指導係へ改編し、予防消防体制の強化を図る。
 - 〃 消防救急無線をこれまでのアナログ方式からデジタル方式へ移行し、運用を開始する。
- 5. 17 長沼分署太陽光発電設備工事竣工する。(県補助事業)
- 11. 25 消防団120年・自治体消防65周年記念大会が東京都で開催される。
- 11. 28 石川消防署に高規格救急自動車(トヨタ ハイメディック 県補助事業)1台を更新配置する。
- 12. 1 組合設立40周年記念誌を発行する。
- 平成26. 1. 31 玉川派出所太陽光発電設備工事竣工する。(県補助事業)
- 3. 20 石川消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野 レンジャー 水槽2.0t 国庫補助事業)1台を更新配置する。
- 4. 1 職員14人を採用し実員208人となる。
 - 〃 玉川派出所に職員8人を配置し、須賀川消防署から補勤を受け24時間常駐体制に移行する。
- 8. 31 平成26年度福島県総合防災訓練が須賀川市立第二中学校及び須賀川市民スポーツ広場周辺を会場に開催される。(合計66機関・団体 約1,000人)
- 10. 4 須賀川信用金庫創立100周年記念により高規格救急自動車(トヨタ ハイメディック)の寄贈を受け須賀川消防署に配置する。
- 10. 27 古殿分署に広報連絡車(ニッサン ADエキスパート)1台を更新配置する。
- 平成27. 2. 18 長沼分署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A型(日野 レンジャー 水槽1.5t 国庫補助事業)1台を更新配置する。
- 2. 27 消防本部庁舎太陽光発電設備・受変電設備工事竣工する。(県補助事業)
- 4. 1 職員9人を採用し、3人の再任用者を含め実員210人となる。
 - 〃 玉川派出所に再任用者1人を含む職員を5人増員し、13人体制となる。
- 8. 29 全国消防救助技術大会(神戸)で、ロープ応用登はん種目において消防士根本晃宏、消防士二瓶匡史チームが出場50チーム中最高のタイムで入賞する。
- 11. 10 浅川分署に広報連絡車(トヨタ サクシード)1台を更新配置する。
- 平成28. 2. 1 湯本分遣所新庁舎に移転し業務を開始する。
- 2. 26 玉川派出所に消防ポンプ自動車CD-I型(日野 デュトロ)1台を更新配置する。
- 3. 14 玉川派出所車庫増築工事竣工する。
- 4. 1 職員9人を採用し、5人の再任用者を含め実員213人となる。
 - 〃 玉川派出所を従来の須賀川消防署から石川消防署に管轄変更するとともに、玉川分署に昇格させる。
 - 〃 女性活躍推進法に基づく須賀川地方広域消防組合特定事業主行動計画を策定する。
 - 〃 地方公務員法に基づく人事評価制度の運用を開始する。

4. 1 本組合の中長期にわたる計画的な運営のため、須賀川地方広域消防組合運営計画を策定する。
4. 20 湯本分遣所新庁舎竣工する。
 位 置 天栄村大字田良尾字五輪林山4
 敷地面積 899.16㎡
 構 造 鉄骨造2階建
 延べ面積 287.14㎡
10. 27 鏡石分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。
11. 22 玉川分署に広報連絡車（トヨタ サクシード）1台を配置する。
- 平成29. 2. 28 平田分署に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ 国庫補助事業）1台を更新配置する。
4. 1 職員4人を採用し、4人の再任用者を含め実員213人となる。
5. 2 消防相互応援協定に基づき、双葉郡浪江町地内十万山山頂付近で発生した大規模林野火災による消火活動に応援出動する。（5月10日鎮火に至るまで計8日間、延べ74人）
9. 7 長沼分署及び古殿分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台をそれぞれ更新配置する。
10. 31 須賀川消防署に広報連絡車（トヨタ サクシード）1台を更新配置する。
- 平成30. 3. 7 自治体消防制度70周年記念式典が東京都で開催される。
4. 1 職員5人を採用し、2人の再任用者を含め実員210人となる。
6. 28 古殿分署新庁舎竣工する。
 位 置 古殿町大字松川字横川66-3
 敷地面積 2,618.0㎡
 構 造 鉄骨造平屋建
 延べ面積 370.52㎡
7. 20 古殿分署新庁舎に移転し業務を開始する。
- 平成31. 1. 21 住宅用火災警報器の設置率向上のため、取り付け支援サービスを開始する。
4. 1 職員7人を採用し、4人の再任用者を含め実員207人となる。
 // 訪日外国人からの通報へ対応するため、電話通訳センターを介した多言語通訳サービスを導入する。
- 令和元. 5. 29 石川消防署新庁舎竣工する。
 位 置 石川町字当町297-1
 敷地面積 2,752.83㎡
 構 造 鉄筋コンクリート一部鉄骨造2階建
 延べ面積 997.53㎡

6. 27 石川消防署新庁舎に移転し業務を開始する。
9. 18 須賀川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。
10. 12 台風19号が12日から13日にかけて東日本を縦断、管内各所では河川堤防の決壊、内・外水氾濫が発生し甚大な被害を受ける。須賀川市では死者2人が発生する。また、須賀川消防署は床上約70cmの浸水被害を受け、公用車5台、職員の車両40台も水没する。
- 床上浸水 1,359棟
- 床下浸水 392棟
10. 13 台風被害により2日間で計88件の出動要請があり、当組合の人員・資機材のみでは対応困難と判断、消防相互応援協定により南会津消防本部ボート隊7人の応援を受ける。
- （延べ出動車両144台、出動人員510人、救助者数199人）
12. 26 消防本部に広報連絡車（マツダ スクラムバン）1台を更新配置する。
- 令和2. 2. 12 須賀川消防署に広報連絡車（ニッサン キャラバン）1台を更新配置する。
3. 12 消防本部に広報連絡車（ニッサン ADバン）1台を更新配置する。
3. 17 県内初の制度である予防技術資格者として認定された職員に資格者章を貸与する予防技術資格者章貸与式が行われる。（貸与者12名）
4. 1 職員7人を採用し、1人の再任用者を含め実員207人となる。
- 〃 高機能消防指令センター（Ⅱ型 国庫補助事業）を全面更新し、運用開始する。
7. 15 須賀川消防署に軽トラック（日産 NT100クリッパー）1台を更新配置する。
8. 24 消防本部に非常用電源設備（ニチハツ キュービクル式 200V 50kVA（40kW））を更新整備する。
11. 10 石川消防署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
- 〃 玉川分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック）1台を更新配置する。
- 令和3. 2. 13 2月13日23時07分に発生した福島県沖（牡鹿半島の南南東70km付近）を震源とするマグニチュード7.3、震度6強（管内最大震度6弱）の福島県沖地震により、管内各所で被害が発生する。
- ※管内の被害状況（令和4年3月8日現在）
- 全 壊 5棟
- 半 壊 215棟
- 一部損壊 2,986棟
- 負 傷 者 12人
3. 15 須賀川消防署に化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野 レンジャー 水槽1.5t 薬液槽0.5t）1台を更新配置する。
4. 1 職員7人を採用し、3人の再任用者を含め実員208人となる。
- 〃 須賀川地方広域消防組合第2次運営計画を策定する。

5. 21 次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく須賀川地方広域消防組合特定事業主行動計画を策定する。
10. 1 須賀川地方広域消防組合地球温暖化対策実行計画を策定する。
11. 12 浅川分署に高規格救急自動車（トヨタ ハイメディック 国庫補助事業）1台を更新配置する。
- 令和4. 2. 21 鏡石分署に消防ポンプ自動車CD-I型（日野 デュトロ 国庫補助事業）1台を更新配置する。
3. 16 3月16日23時36分に発生した福島県沖を震源とするマグニチュード7.4、震度6強（管内最大震度6弱）の福島県沖地震により、管内各所で被害が発生する。
※管内の被害状況（令和4年4月1日現在）
半 壊 9棟
一部損壊 871棟
負 傷 者 2人
4. 1 職員4人を採用し、1人の再任用者を含め実員206人となる。

総

務

組合基本理念

安心して暮らせる

地域の未来をつくる



第83期初任教育
卒業査閲・卒業式

令和3年度
ハラスメント防止研修



3 執行機関及び議会議員等

執行機関

職名	氏名	現職
管理者	橋本克也	須賀川市長
代表副管理者	塩田金次郎	石川町長
副管理者	木賊正男	鏡石町長
〃	添田勝幸	天栄村長
〃	石森春男	玉川村長
〃	澤村和明	平田村長
〃	江田文男	浅川町長
〃	岡部光徳	古殿町長
会計管理者	井上敦雄	須賀川市会計管理者

組合議会議員

職名	氏名	現職
議長	鈴木正勝	須賀川市議会議員
副議長	草野傳明	石川町議会議長
議員	西川良英	玉川村議会議員
〃	瀬谷京子	石川町議会議員
〃	上遠野廣一	平田村議会議員
〃	斉藤秀幸	須賀川市議会議員
〃	高橋邦彦	〃
〃	深谷政憲	〃
〃	大柿貞夫	〃
〃	市村喜雄	〃
〃	兼子長一	浅川町議会議員
〃	熊田喜八	天栄村議会議員
〃	常盤浩章	古殿町議会議員
〃	橋本喜一	鏡石町議会議員

監査委員

選任区分	氏名	現職
識見を有する者	藤島敬一	
議会選出	兼子長一	

(注) 令和4年9月10日現在

4 庁舎現況・配置状況

庁舎現況

区	分	所在地	敷地面積(m ²)	延べ面積(m ²)	構造
消防本部 須賀川消防署	庁舎	須賀川市丸田町153	4,936.35	2,198.954	R C造 3階建
	訓練塔			93.525	R C造 5階建
	耐煙訓練棟			199.685	R C造 2階建
	第二車庫			358.999	R C造 2階建
長沼分署	庁舎	須賀川市梓衝字上南47	2,910.0	846.0	R C造 一部 S造 2階建
鏡石分署	庁舎	鏡石町旭町160	1,574.67	313.1	R C造 2階建
長沼分署湯本分遣所	庁舎	天栄村大字田良尾字五倫林山4	899.16	287.14	S造 2階建
石川消防署	庁舎	石川町字当町297-1	2,752.83	997.53	R C造 一部 S造 2階建
	訓練塔			86.37	S造 3階建
	物置			9.55	S造 平屋建
玉川分署	庁舎	玉川村大字北須釜字森殿25-3	2,720.74	363.34	R C造 一部 S造 平屋建
	物置			9.55	S造 平屋建
平田分署	庁舎	平田村大字鴫子字塚田32	2,377.3	318.75	R C造 2階建
浅川分署	庁舎	浅川町大字浅川字背戸谷地157-4	2,366.73	263.4	R C造 3階建
古殿分署	庁舎	古殿町大字松川字横川66-3	2,618.0	370.52	S造 平屋建
	物置			9.55	S造 平屋建

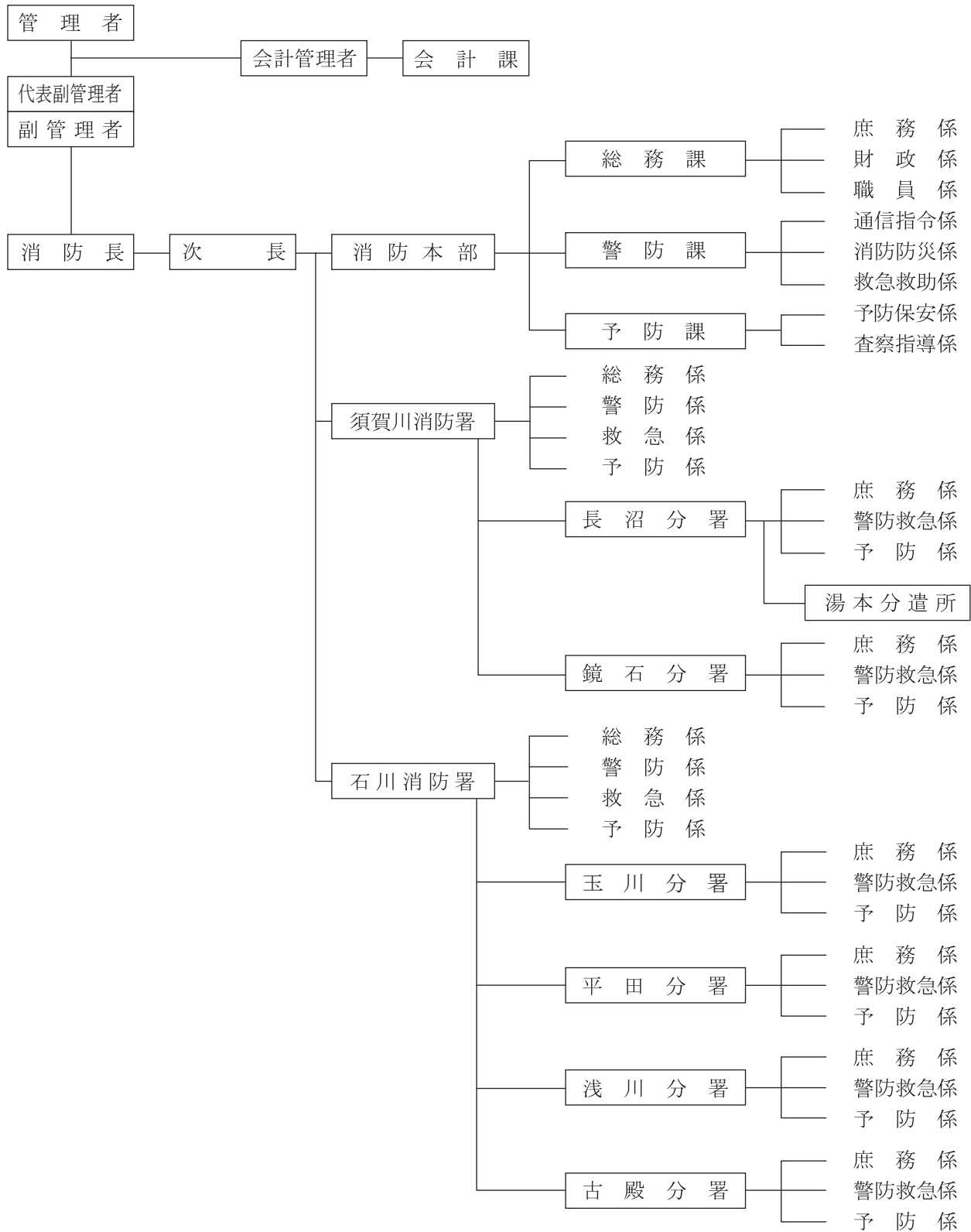
配置現況



5 組 織

(1) 組合議会 ————— 議長以下 14名

(2) 執行機関



(3) 監査委員 ————— 識見を有する者 1名
 議会選出 1名

6 職員配置状況

() 内は兼務

区分	人員計		階級	消防正	消防監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用	
	職数	人数												
消防本部	消防長	1		1										
	消防次長	1			1									
	総務課	課長	11 (2)				1							
		主任幹事						1						
		課長補佐						1			1 (1)			
		庶務係						1		2	1			
		財政係						1		1	1 (1)			
	職員							2						
	福島県派遣等							2						
	警防課	課長	17 (8)				1							
		主任幹事					1	1						
		課長補佐					(1)	2 (1)						
		通信指令係					(1)	1 (2)	3	4			2	
	消防防炎係					(1)		(1)	1					
	救急救助係						(1)	1		(1)				
予防課	課長	5 (3)				1								
	主任幹事						1							
予防係						(1)	1 (1)							
査察指導係							2 (1)							
須賀川消防署	本署	署長	48 (1)			(1)								
		副署長				1								
		当直係						2						
		総務係						1	1	4				
	消防係						1	5	4			2		
	救急係						1	4	3			2		
	予防係						1	4	4			8		
	長沼分署	分署長	19				1							
		副分署長					2							
		庶務係							1	2			1	
	消防救急係							1	3			2		
	予防係							3	2			1		
	湯本分署	分署長	9				1	3	4			1		
	鏡石分署	分署長	14 (5)				1							
		副分署長					2							
庶務係								1				1		
消防救急係								1	1 (1)			2		
予防係						1	3	1 (1)			(3)			
石川消防署	本署	署長	29 (4)			1								
		副署長				1								
		当直係						2						
		総務係						1	1	2				
	消防係							3	2			2 (2)		
	救急係							2	2			2 (2)		
	予防係						1	3	1			3		
	玉川分署	分署長	13				1							1
		副分署長					2							
		庶務係							1	1				
	消防救急係							2	1			2		
	予防係							2	1			1		
	平田分署	分署長	13				1							
		副分署長					2							
		庶務係							1	1				
消防救急係							1	2			1			
予防係							2				2			
浅川分署	分署長	13				1								
	副分署長					2								
	庶務係							1				1		
消防救急係							1	2			1			
予防係							2	1			1			
古殿分署	分署長	13				1								
	副分署長					2								
	庶務係							1				1		
消防救急係							1	1			2			
予防係							2	2						
計		206 (23)		1	2 (1)	6 (2)	38 (5)	64 (3)	54 (5)	0	41 (7)	1		

7 職員勤続年数・年齢

職員勤続年数

区 分	消 防 正 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消防士	計
1年未満							4	4
1年以上～5年未満							25	25
5年以上～10年未満						30	12	42
10年以上～15年未満					14	24		38
15年以上～20年未満					15			15
20年以上～25年未満				3	17			20
25年以上～30年未満			4	16	13			33
30年以上～35年未満			2	18	5			25
35年以上～40年未満								0
40年以上	1	2		1				4
計	1	2	6	38	64	54	41	206
平均勤続年数	42.0	41.0	30.0	29.4	20.2	9.1	3.6	16.3

職員年齢

区 分	消 防 正 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消防士	計
20歳未満							7	7
20歳以上～25歳未満							17	17
25歳以上～30歳未満						20	13	33
30歳以上～35歳未満					7	31	3	41
35歳以上～40歳未満					17	3	1	21
40歳以上～45歳未満					25			25
45歳以上～50歳未満				28	14			42
50歳以上～55歳未満			6	9	1			16
55歳以上	1	2		1				4
計	1	2	6	38	64	54	41	206
平均年齢	60.0	59.0	53.2	48.6	41.1	30.2	23.7	36.8

8 職員研修状況

(令和3年4月～令和4年3月)

区分	回数	人員	階級別内訳							
			消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	
福島県消防学校	初任教育	1	7							7
	警防科	1	1						1	
	救助科	1	2						1	1
	特殊災害科	1	1						1	
	予防査察科	1	2					2		
	火災調査科	1	2						2	
	救急科	2	6							6
	初級幹部科	1	2					2		
	救急救命士養成補助教育科	1	2						2	
消防大学校	幹部科	1	1				1			
	査察業務マネジメントコース (第5回)	1	1					1		
ふくしま自治研修センター	応用力アップ研修	1	1						1	
	新任係長研修	1	1					1		
	新任管理者研修	1	1				1			
	住民サービス向上のための 接遇実践講座	1	5							5
	地方公会計基礎講座	1	1					1		
	人事評価講座 (オンライン)	1	17		2	4	11			
	人事評価講座 (集合研修)	1	2		1	1				
	折衝・交渉力養成講座	1	1						1	
救急救命士資格取得研修	2	2							2	
計	22	58		3	5	13	7	9	21	

9 職員免許資格等取得状況

種 別	階 級	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 士	計	
自 動 車 関 係	けん引第1・2種					1			1	
	大型特殊第1種			2	4	3	1		10	
	大型第1種	1		5	35	61	52	24	178	
	大型第2種				2	1			3	
	中型第1種(8t未満限定含む)		2	1	3	3	1		10	
	中型第2種(8t未満限定含む)				2	2			4	
	準 中 型						1		1	
	普通第1種							17	17	
	大型自動2輪			3	8	4	2	1	18	
	普通自動2輪		1	1	6	9	6	2	25	
救 急 関 係	2・3級ガソリン自動車整備士			1					1	
	救急隊員資格者	1	1	2	29	43	40	22	138	
	救急救命士		1	4	9	21	14	8	57	
	気管挿管認定救急救命士		1	3	8	21	7	2	42	
	薬剤投与認定救急救命士		1	4	9	21	12	7	54	
	処置拡大(生前輸液等)認定救急救命士			1	9	21	12	7	50	
	指導救命士				4				4	
	救急技術指導者		1	4	7	19			31	
	応急手当指導員	1	2	6	38	64	54	37	202	
	JPTECインストラクター			1	9	6	3		19	
JPTECプロバイダー※			4	22	51	50	22	149		
予 防 関 係	BLSインストラクター				2				2	
	BLSプロバイダー※			2	11	47	53	22	135	
	危険物取扱者	甲 種			1		2			3
		乙 種		1	2	13	39	15	1	71
		丙 種				2				2
	予防技術資格者	防火査察	1		3	12	12	3	3	34
		消防設備等	1		2	6	9	3	1	22
		危険物	1		3	9	11	4	3	31
	消防設備士			1	1	4	3		9	
	そ の 他	小型船舶免許			1	9	14			24
小型移動式クレーン運転技能		1		3	16	27	8		55	
フォークリフト運転技能				2	1		1		4	
玉掛け技能		1		1	19	40	8		69	
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育						4	6		10	
第1級陸上特殊無線技士					1	2			3	
第2級陸上特殊無線技士			1	1	9	25		1	37	
第3級陸上特殊無線技士		1	1	5	28	37	54	36	162	
アマチュア無線技士			1	1	2	1			5	
電気工事士				1		1	1		3	
他	ガス溶接技能				6	5	3		14	
	2級ボイラー技士			2			2		4	
	衛生管理者免許		1		1		1		3	
	基礎製図検定					4	1		5	
	潜水士			1	9	12	4		26	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能			1	2	2	1		6		
特定化学物質等作業主任者			3	5	7	1		16		

※修了者含む

10 令和4年度一般会計予算

1 歳入

(単位：千円)

区分 款	令和4年度(当初)		令和3年度(当初)		比較	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
分担金及び負担金	2,032,206	88.2	2,035,681	94.4	△ 3,475	△ 0.2
使用料及び手数料	1,376	0.0	1,376	0.1	0	0.0
国庫支出金	800	0.0	800	0.0	0	0.0
県支出金	1,432	0.0	1,593	0.0	△ 161	△ 10.1
財産収入	66	0.0	58	0.0	8	13.8
寄附金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
繰入金	24,750	1.1	1	0.0	24,749	激増
繰越金	15,000	0.7	15,000	0.7	0	0.0
諸収入	3,969	0.2	4,037	0.2	△ 68	△ 1.7
組合債	225,300	9.8	98,800	4.6	126,500	128.0
計	2,304,900	100.0	2,157,347	100.0	147,553	6.8

2 歳出

(1) 性質別

(単位：千円)

区分 科目	令和4年度(当初)		令和3年度(当初)		比較	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
人件費	1,601,278	69.5	1,638,177	76.0	△ 36,899	△ 2.3
物件費	161,533	7.0	166,764	7.7	△ 5,231	△ 3.1
維持補修費	13,164	0.6	2,871	0.1	10,293	358.5
扶助費	23,840	1.0	23,070	1.1	770	3.3
補助費等	8,800	0.4	10,044	0.5	△ 1,244	△ 12.4
普通建設事業費	287,800	12.5	109,935	5.1	177,865	161.8
公債費	116,108	5.0	71,853	3.3	44,255	61.6
積立金	87,377	3.8	129,633	6.0	△ 42,256	△ 32.6
予備費	5,000	0.2	5,000	0.2	0	0.0
計	2,304,900	100.0	2,157,347	100.0	147,553	6.8

(2) 目的別

(単位：千円)

区分 科目	令和4年度(当初)		令和3年度(当初)		比較	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	増減率(%)
議会費	748	0.0	807	0.0	△ 59	△ 7.3
総務費	92,117	4.1	134,704	6.3	△ 42,587	△ 31.6
消防費	2,090,927	90.7	1,944,983	90.2	145,944	7.5
公債費	116,108	5.0	71,853	3.3	44,255	61.6
予備費	5,000	0.2	5,000	0.2	0	0.0
計	2,304,900	100.0	2,157,347	100.0	147,553	6.8

警

防



令和3年度配置 災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I型）
鏡石分署 緊急消防援助隊登録車両



令和3年度配置 災害対応特殊救急自動車
浅川分署 緊急消防援助隊登録車両

1 消防本部・消防署等配置図



凡 例

⊙	消 防 本 部
⊙	消 防 署
⊙	分 署 ・ 分 遣 所
⊙	福島県消防防災ヘリコプター

2 消防車両の現勢

区分	種 別	車名	ポンプ 級別	購入 年度	経過 年数	納 入 業 者
消防本部	司 令 車	トヨタ		H16	17	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		H16	17	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	ニッサン		R1	2	福島日産自動車(株)
	広 報 連 絡 車	マツダ		R1	2	株式会社福島マツダ
須賀川消防署	C D - I 型 消防ポンプ自動車	日野	A - 2	H23	10	日本機械工業(株)
	小型動力ポンプ付 水そう車(10t)	三菱	B - 2	H10	23	森田ポンプ(株)
	は し ご 付 消防自動車(30m)	日野		H 7	26	森田ポンプ(株)
	化学消防ポンプ自動車	日野	A - 2	R2	1	長野ポンプ(株)
	化学消防ポンプ自動車	日野	A - 2	H15	18	ジーエムいちほら工業(株)
	救 助 工 作 車	日野		H16	17	(株)モリタ
	救 急 自 動 車	トヨタ		R1	2	福島トヨタ自動車(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		H26	7	須賀川信用金庫寄贈
	救 急 自 動 車	トヨタ		H22	11	福島トヨタ自動車(株)
	人 員 輸 送 車	三菱		H15	18	福島三菱ふそう自動車販売(株)
	指 揮 車	トヨタ		H19	14	ジーエムいちほら工業(株)
	広 報 連 絡 車	ニッサン		R1	2	福島日産自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		H29	4	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		H9	24	福島トヨタ自動車(株)
	資 機 材 搬 送 車	三菱		H10	23	福島三菱ふそう自動車販売(株)
	資機材搬送車(軽)	ニッサン		R2	1	福島日産自動車(株)
長沼分署	水 I - A 型(1.5t) 消防ポンプ自動車	日野	A - 2	H26	7	日本機械工業(株)
	C D - I 型 消防ポンプ自動車	三菱	A - 2	H11	22	森田ポンプ(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		H29	4	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	三菱		H14	19	郡山三菱自動車販売(株)
鏡石分署	C D - I 型(0.7t) 消防ポンプ自動車	日野	A - 2	R3	0	(株)モリタ
	救 急 自 動 車	トヨタ		H28	5	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	ニッサン		H12	21	福島日産モーター(株)

区分	種 別	車名	ポンプ 級別	購入 年度	経過 年数	納 入 業 者
湯本分遣所	C D - I 型 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H20	13	日本機械工業(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		H23	10	福島トヨタ自動車(株)
石川消防署	水 II 型 (2t) 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H25	8	ジーエムいちはら工業(株)
	C D - I 型 消防ポンプ自動車	トヨタ	A-2	H18	15	ジーエムいちはら工業(株)
	C D - I 型 消防ポンプ自動車	三菱	A-2	H11	22	森田ポンプ(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		R2	1	福島トヨタ自動車(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		H25	8	福島トヨタ自動車(株)
	指 揮 車	ニッサン		H24	9	福島日産自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		H16	17	トヨタカローラ福島(株)
玉川分署	C D - I 型 (0.7t) 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H27	6	ジーエムいちはら工業(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		R2	1	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		H28	5	福島トヨタ自動車(株)
平田分署	C D - I 型 (0.7t) 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H28	5	ジーエムいちはら工業(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		H22	11	アステラス製薬(株)寄贈
	広 報 連 絡 車	トヨタ		H23	10	福島トヨタ自動車(株)
浅川分署	C D - I 型 消防ポンプ自動車	トヨタ	A-2	H17	16	ジーエムいちはら工業(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		R3	0	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	トヨタ		H27	6	福島トヨタ自動車(株)
古殿分署	C D - I 型 消防ポンプ自動車	日野	A-2	H19	14	ジーエムいちはら工業(株)
	救 急 自 動 車	トヨタ		H29	4	福島トヨタ自動車(株)
	広 報 連 絡 車	ホンダ		H26	7	福島日産自動車(株)

消 防 ポ ン プ 自 動 車	12台	資 機 材 搬 送 車	2台
は し ご 付 消 防 自 動 車	1台	救 急 自 動 車	12台
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2台	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 そ う 車	1台
救 助 工 作 車	1台	司 令 車 ・ 広 報 連 絡 車 等	17台
計			48台

(t) = タンク積水量

3 消防機器材の配置状況

種 別	署 所		須賀川消防署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	石川消防署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署	計	備 考
一般火災用具	ホース	65mm	118	60	30	30	80	30	30	30	30	438	
	ホース	50mm	102	60	30	30	80	30	30	30	30	422	
	管 鎗	65mm	13	3	1	2	6	2	2	2	2	33	
	管 鎗	50mm	11	9	4	2	10	5	5	3	2	51	
	フォグガン		4	2	2	1	3	1	1	1	1	16	
	ディスクストレーナー		2	1		1	1	1	1		1	8	
	防災シート		1				1		2			4	
危険物火災用具	消火薬剤	合成界面活性剤 低 発 泡				80			60			140	
		合成界面活性剤 高 発 泡	200	30			286		40	80	140	776	
		水 成 膜 泡 消 火 薬 剤	560	170	100		25	140	80			1075	
	泡ノズル	400 型	6	1					1			8	
		200 型		2	1		2	1	1	1	1	9	
	簡易発泡機			1					1			2	
	簡易泡混合機 (TPP-1 型)								1			1	
林野火災用具	背負い式消火水のう		18	8	5	10	15	6	6	6	6	80	
	簡易水槽		4									4	
	可搬式送水装置 (TH400M 型)											0	
危険物排除用具	オイルフェンス		4	2			2				2	10	
	油吸着マット(枚)		364	189	202	86	279	40	277	486	403	2326	
	A Cライト(kg)		250	28	16	30	90	35	92	60	20	621	
訓練用器具	スモークマシーン		2				2					4	
	訓練用消火器		15	5	5	5	10	5	5	5	5	60	
そ の 他	コンプレッサー		1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	

4 応援協定等

協定締結団体名	締結年月日	応援協定の内容
郡山地方広域消防組合 白河地方広域市町村圏整備組合	昭和48年12月 1日	火災・救急・その他の災害
いわき市	昭和49年10月 9日	〃
南会津地方広域市町村圏組合	昭和51年 3月30日	火災・救急・その他の災害
白河地方広域市町村圏整備組合	昭和54年 7月 1日	消防相互応援協定に関する火災及び救急業務の通報取扱いについての覚書
東北自動車道沿線1市4組合	平成 2年 4月 1日	東北自動車道における火災・救急事故・その他の災害
福島県 郡山地方広域消防組合 白河地方広域市町村圏整備組合 須賀川市 玉川村	平成 5年 3月20日	福島空港及びその周辺における航空機に関する火災、若しくは空港におけるその他の火災又は、それらの発生のおそれのある事態に際しての消火救難活動
県内11消防本部	平成 9年12月26日	地震・風水害・林野火災等の大規模災害や石油コンビナート災害・原子力災害等の特殊災害における広域消防活動
〃	平成11年12月27日	火災原因調査
郡山地方広域消防組合 白河地方広域市町村圏整備組合	平成23年 3月26日	あぶくま高原道路における火災・救急事故・その他の災害

協定締結団体名	締結年月日	応援協定の内容
福陽液化ガス株式会社 共同ガス株式会社	昭和56年11月24日	ガス事故発生時の役割分担
県内関係鉄道事業者(10社)	平成22年 3月29日	鉄道災害発生時における連携
株式会社スペースワン 株式会社アルサ	平成31年 3月19日	災害現場での情報収集や活動支援

5 市町村別各種災害等出場状況

災害別 市町村	計		火 災		風水害等の災害		演習・訓練等		救 急		救助活動	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
須賀川市	4,537	15,610	17	297	5	33	36	109	2,780	9,038	33	472
鏡石町	862	2,592					4	10	469	1,593	3	39
天栄村	709	2,681	2	38	1	3	2	3	213	752	3	32
石川町	1,161	4,116	5	96			40	62	672	2,311	3	35
玉川村	557	1,594	5	56			9	19	231	755	5	91
平田村	634	2,628	3	38			10	21	249	866	3	38
浅川町	557	1,592	4	56			1	1	224	707		
古殿町	477	1,386	5	126			11	19	191	651		
管 外	59	199					21	89	8	39		
本年合計	9,553	32,398	41	707	6	36	134	333	5,037	16,712	50	707
前年合計	8,799	27,139	38	601			165	424	4,900	15,031	36	371
	【1】	【26】	【1】	【26】					(3)	(13)		
比較増減	845	3,035	3	106	6	36	△31	△91	137	1,681	14	336
			【△1】	【△26】					(△3)	(△13)		

広報・指導		警防調査		火災調査		特別警戒		搜索		予防査察		誤報等		その他	
回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
385	1,294	41	172	40	139	63	206			286	1,057			851	2,793
93	185	58	141			35	69			57	218	1	3	142	334
80	157	34	90			8	12	2	6	227	1,273			137	315
88	295	73	262	3	11	14	48			129	509			134	487
149	290	46	94			15	31			38	138			59	120
143	277	42	89			21	41			112	524			51	100
127	250	44	92	2	4	31	61			75	330			49	91
152	275	24	53	8	23	16	30			28	118			42	91
		2	6	1	2	5	17			4	12			18	34
1,217	3,023	364	999	54	179	208	515	2	6	956	4,179	1	3	1,483	4,365
1,184	3,213	475	1,281	61	213	195	455	2	6	555	2,085			1,188	3,459
33	△ 190	△ 111	△ 282	△ 7	△ 34	13	60	0	0	401	2,094	1	3	295	906

() 東北自動車道 【 】 管外火災

6 市町村別消防水利状況

令和4年4月1日現在

種 別		市町村別	須 賀 川 市	鏡 石 町	天 栄 村	石 川 町	玉 川 村	平 田 村	浅 川 町	古 殿 町	計
消 火 栓 (mm)	公 設	150 以上	480	75	32	58	36	64	78	29	852
		150 未満	827	202	156	128	123	113	178	71	1,798
		小 計	1,307	277	188	186	159	177	256	100	2,650
	私 設	150 以上	2	0	9	1	0	0	0	0	12
		150 未満	1	0	131	1	0	0	0	0	133
		小 計	3	0	140	2	0	0	0	0	145
	計		1,310	277	328	188	159	177	256	100	2,795
防 火 水 槽 (m ³)	公 設	100 以上	12	1	0	0	0	0	0	1	14
		60~100未満	20	1	1	1	1	0	2	3	29
		40~60 未満	264	67	89	127	75	25	61	41	749
		20~40 未満	52	15	7	24	7	0	21	25	151
		小 計	348	84	97	152	83	25	84	70	943
	私 設	100 以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		60~100未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		40~60 未満	2	0	3	3	0	0	0	0	8
		20~40 未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小 計	2	0	3	3	0	0	0	0	8
計		350	84	100	155	83	25	84	70	951	
そ の 他	プ ー ル	30	5	5	3	3	3	5	2	56	
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	30	5	5	3	3	3	5	2	56	
合 計		1,690	366	433	346	245	205	345	172	3,802	

火災・救急・救助



令和3年度福島空港消火救難総合訓練図上訓練



令和3年度 若手職員対象訓練

1 市町村別・火災原因別出火件数

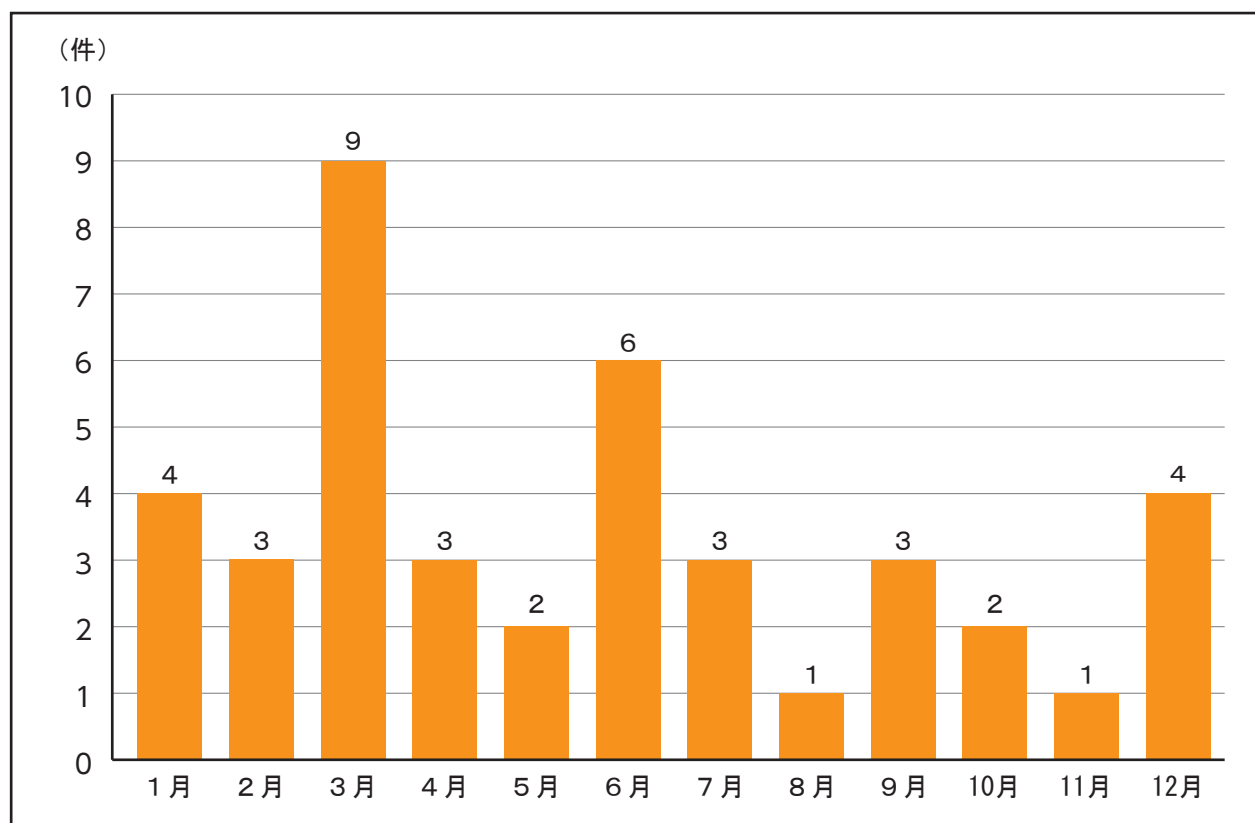
原因 \ 市町村	須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	計
たばこ	1			1					2
枯草焼き たき火等	3			1	2	1	2	2	11
火あそび	1								1
ガステーブル こんろ									
放火									
風呂・かまど ボイラー									
こたつ ストーブ	3			1				1	5
放火の疑い	2					1			3
マッチ ライター									
煙突 煙道									
電灯・電話 等の配線	3								3
その他	2		2	2	1	1	1	2	11
不明	2				2		1		5
合計	17		2	5	5	3	4	5	41

2 市町村別火災発生状況

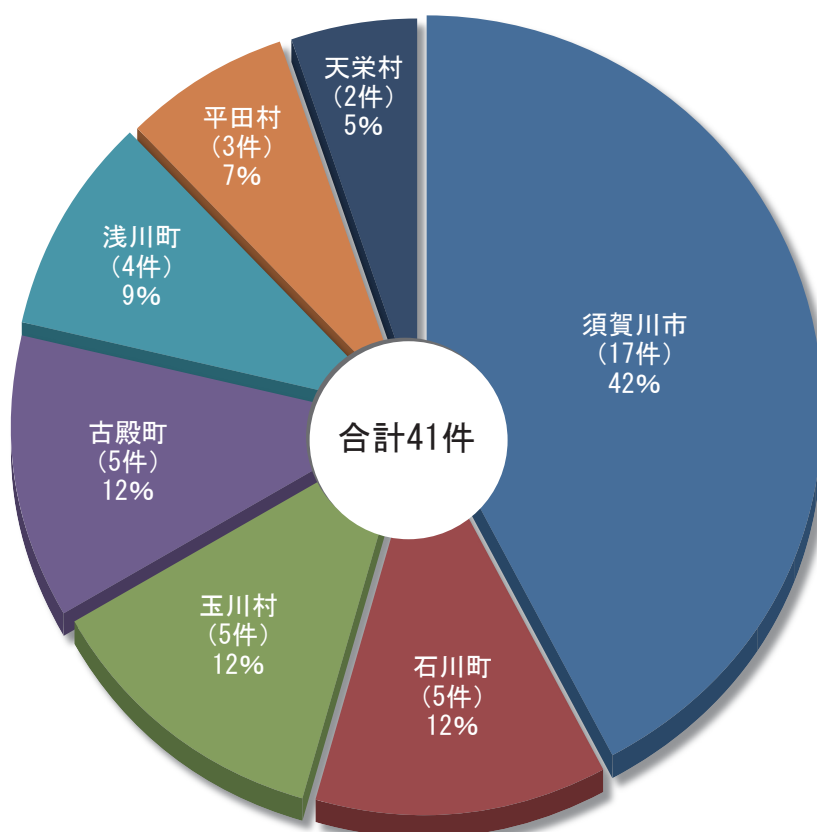
区分 市町村名	出火件数						焼損面積			損害見積額		
	計	建物	林野	車両	航空・船舶	その他	建物		林野(a)	計	建物	
							延面積(m ²)	表面積(m ²)			建築物	収容物
須賀川市	17	10	4	2		1	649	97	38	62,325	38,115	23,001
鏡石町	0											
天栄村	2	1		1				1		15	3	4
石川町	5	4				1	117	3	26	3,489	1,369	1,978
玉川村	5	1		1		3	12			1,858	542	9
平田村	3	1	1			1	17		13	82		20
浅川町	4	1	1			2			1	7		6
古殿町	5	3				2	952			17,775	15,441	2,133
計	41	21	6	4	0	10	1,747	101	78	85,551	55,470	27,151
前年同期	38	17	4	5	0	12	3,768	305	30	102,163	81,108	15,704
比較増減	3	4	2	△1	0	△2	△2,021	△204	48	△16,612	△25,638	11,447

(単位：千円)				焼 損 棟 数								り災世帯			り 災 人 員 (人)	死傷者	
林 野	車 両	そ の 他	爆 発	火 元 棟				延 焼 棟				全 損	半 損	小 損		傷 者 (人)	死 者 (人)
				全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や						
538	630	41		2	4	2	2		2	2	2	1	6	8	39	8	2
	8						1										
	140	2		1			3	4		2	1	2	1	2	10	2	
	1,300	7				1										2	
13		49		1				1									
		1					1							1	1	1	
		201		3				4		1		2			4	1	
551	2,078	301	0	7	4	3	7	9	2	5	3	5	7	11	54	14	2
74	4,254	1,023	0	12	1	1	3	17	0	12	2	13	0	8	52	5	4
477	△2,176	△722	0	△5	3	2	4	△8	2	△7	1	△8	7	3	2	9	△2

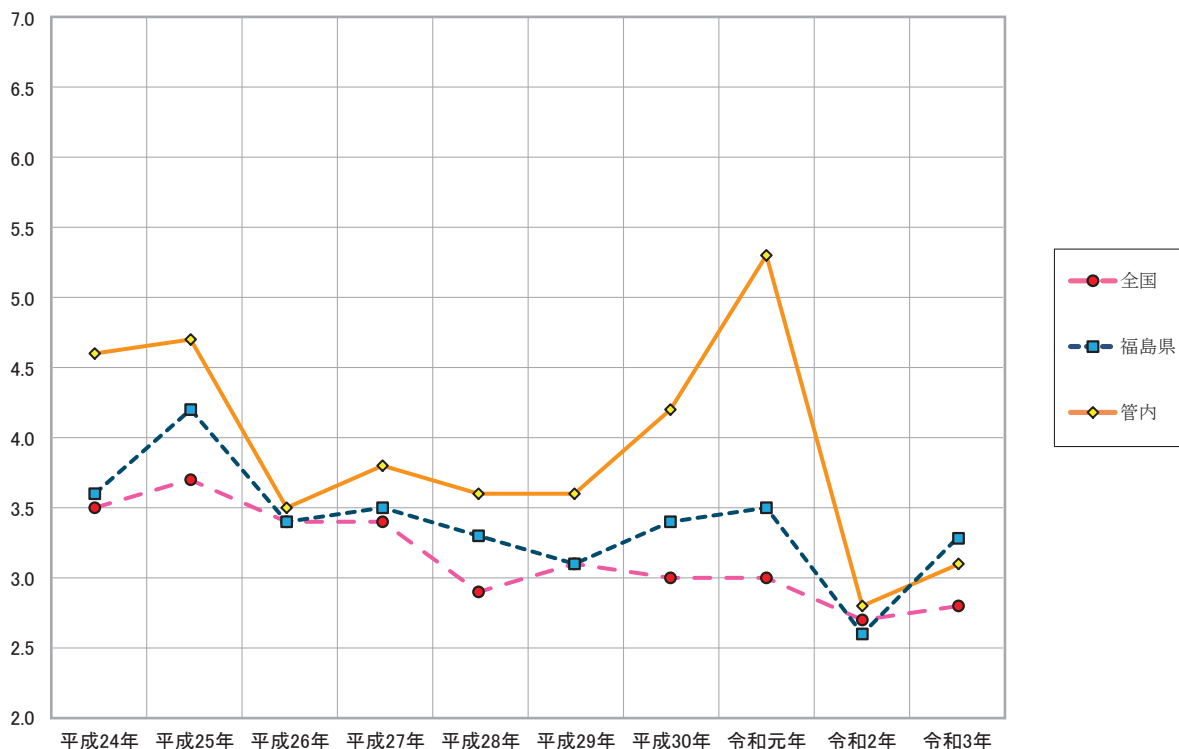
3 月別火災件数



4 市町村別火災発生状況



5 出火率の推移



(出火率とは人口1万人当たりの火災件数)

年 別	全 国	福島県	管 内	須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町
平成24年	件数 44,102 出火率 3.5	669 3.6	65 4.6	33 4.2	11 8.5	4 6.4	9 5.2	2 2.8	3 4.3	1 1.4	2 3.3
平成25年	件数 48,095 出火率 3.7	823 4.2	66 4.7	28 3.6	8 6.3	5 8.5	12 7.0	4 5.7	4 6.1	0 0.0	5 8.9
平成26年	件数 43,632 出火率 3.4	678 3.4	50 3.5	21 2.7	5 3.9	7 11.3	2 1.2	6 8.4	4 5.9	2 2.9	3 5.0
平成27年	件数 43,632 出火率 3.4	678 3.5	52 3.8	24 3.1	4 3.2	3 5.2	6 3.6	8 11.6	3 4.7	0 0.0	4 7.2
平成28年	件数 36,773 出火率 2.9	640 3.3	49 3.6	25 3.2	6 4.8	4 7.2	2 1.3	4 5.9	4 6.2	3 4.6	1 1.9
平成29年	件数 39,198 出火率 3.1	597 3.1	49 3.6	18 2.3	3 2.4	3 5.4	8 5.2	4 5.9	5 7.9	4 6.3	4 7.7
平成30年	件数 37,900 出火率 3.0	632 3.4	56 4.2	29 3.8	7 5.7	3 5.5	8 5.3	1 1.5	2 3.2	4 6.3	2 4.0
令和元年	件数 37,538 出火率 3.0	657 3.5	70 5.3	28 3.7	7 5.7	8 15.0	8 5.4	6 9.2	6 9.9	3 4.8	4 8.1
令和2年	件数 34,602 出火率 2.7	494 2.6	38 2.8	12 1.6	8 6.3	2 3.6	6 4.0	2 3.0	2 3.3	5 7.9	1 1.9
令和3年	件数 35,077 出火率 2.8	599 3.3	41 3.1	17 2.3	0 0.0	2 3.7	5 3.4	5 7.7	3 5.2	4 6.4	5 10.1

$$\frac{\text{当該年の火災件数}}{\text{令和3年1月1日現在の住民基本台帳による人口}} \times 10,000 (\text{小数点第2位四捨五入})$$

6 市町村別救急事故出場件数

事故種別 市町村	計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 輸 送	そ の 他
須賀川市	2,780	15	6	7	205	31	12	373	9	27	1,808	285	1		1
鏡石町	469		4		32	7	6	59	2	8	333	17			1
天栄村	213				26	7		35	1	2	130	9			3
石川町	672	4	1		32	9	13	73	1	14	430	94			1
玉川村	231	3	1	2	15	6	1	19		4	142	38			
平田村	249				18	4		27		5	129	66			
浅川町	224	1			5	3	2	33		1	175	4			
古殿町	191	4			11	9		30		4	125	7			1
管外	8				2						2	3	1		
本年合計	5,037	27	12	9	346	76	34	649	13	65	3,274	523	2		7
前年合計	4,900	20		1	316	84	31	662	11	62	3,138	563	1		11
比較増減	137	7	12	8	30	△8	3	△13	2	3	136	△40	1		△4

7 救急事故月別出場状況

月	事故種別 件数 人員	計	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 輸 送	そ の 他
1月	出場件数	431	4			22	4		64		6	286	44			1
	搬送人員	388				21	4		61		5	254	43			
2月	出場件数	401	2	12		24	5	1	36	1	5	264	49			2
	搬送人員	362		11		20	5	1	32	1	5	238	49			
3月	出場件数	383	3		2	26	4	1	37	3	8	253	46			
	搬送人員	351	3		2	23	4	1	36	2	5	230	45			
4月	出場件数	432				35	11	2	53	2	2	281	46			
	搬送人員	406				38	10	2	47	2	1	260	46			
5月	出場件数	416	1		2	32	1	5	55	2	4	263	51			
	搬送人員	383			1	28	1	5	51	1	1	245	50			
6月	出場件数	393	2		1	23	10	3	45	2	7	257	42			1
	搬送人員	365	2			21	9	3	41	2	6	239	42			
7月	出場件数	423	1			34	6	3	58	1	6	281	33			
	搬送人員	398	1			33	6	3	56	1	4	261	33			
8月	出場件数	477	4		1	31	12	3	73		9	310	33			1
	搬送人員	448	4		1	31	12	3	66		6	293	31			1
9月	出場件数	393	2		2	29	10	4	51		3	250	41	1		
	搬送人員	361	1			28	10	4	47		1	229	41			
10月	出場件数	424	3			27	4	5	64	2	4	263	50	1		1
	搬送人員	388				23	4	5	61	1	3	240	50			1
11月	出場件数	417	1			29	6	2	43		6	282	47			1
	搬送人員	389				27	6	2	41		3	263	47			
12月	出場件数	447	4		1	34	3	5	70		5	284	41			
	搬送人員	406	1			34	3	5	65		2	255	41			
計	出場件数	5,037	27	12	9	346	76	34	649	13	65	3,274	523	2		7
	搬送人員	4,645	12	11	4	327	74	34	604	10	42	3,007	518			2

8 署所別・市町村別出場状況

() は不搬送

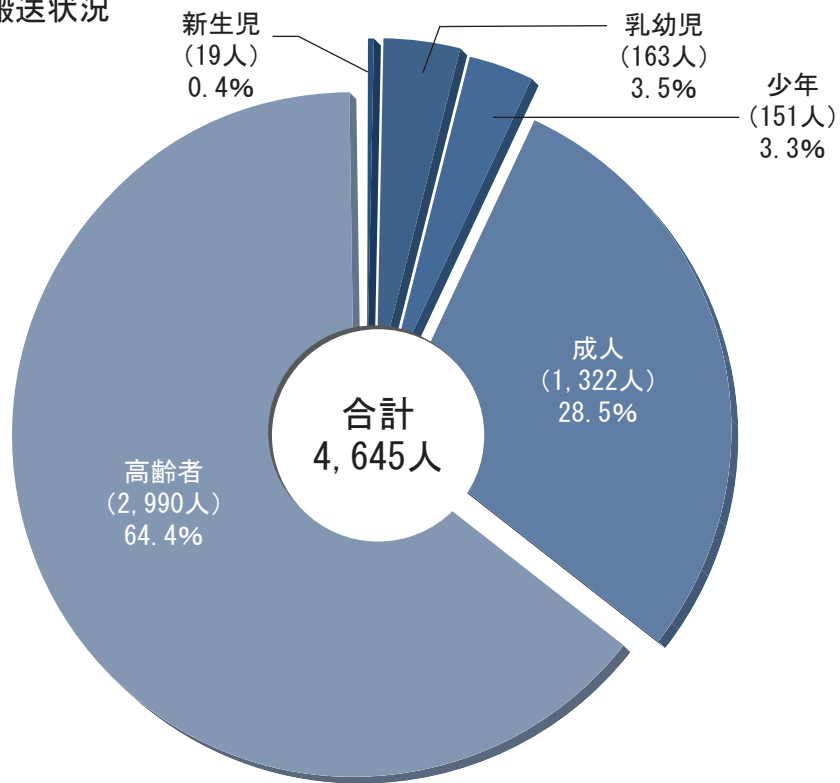
署所 市町村	事故種別 計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
												転院搬送	医師搬送	輸器材送等	その他	
須賀川消防署	須賀川市	2,024 (176)	8 (5)	4 (1)	3 (1)	152 (15)	20 (1)	8	272 (25)	9 (2)	21 (6)	1,285 (116)	240 (2)	1 (1)		1 (1)
	鏡石町	64 (4)		1		6 (2)	1	3	8			39 (1)	5 (1)			1
	天栄村	21 (1)				4			6			9	1			1 (1)
	平田村	1											1			
	玉川村	2										2				
	郡山市	3 (1)											2	1 (1)		
小計	2,115 (182)	8 (5)	5 (1)	3 (1)	162 (17)	21 (1)	11	286 (25)	9 (2)	21 (6)	1,335 (117)	249 (3)	2 (2)		3 (2)	
長沢分署	須賀川市	382 (22)	1	1	2	19 (1)	6	2	55		3 (2)	284 (19)	9			
	鏡石町	5				1	1		2			1				
	天栄村	145 (20)				12 (2)	4		20 (3)	1	2	97 (13)	7			2 (2)
	矢吹町	1										1 (1)				
小計	533 (43)	1	1	2	32 (3)	11	2	77 (3)	1	5 (2)	383 (33)	16				2 (2)
鏡石分署	鏡石町	390 (44)		1		23 (3)	5	3	47 (7)	2 (1)	8 (1)	289 (32)	12			
	須賀川市	234 (18)	4 (2)		1 (1)	26 (6)	3		30 (2)		2	140 (7)	28			
	天栄村	1											1			
	石川町	4							1			3				
	玉川村	10 (3)				5 (1)	1					3 (2)	1			
	古殿町	1 (1)	1 (1)													
	矢吹町	1				1										
小計	641 (66)	5 (3)	1	1 (1)	55 (10)	9	3	78 (9)	2 (1)	10 (1)	435 (41)	42				
湯本分署	天栄村	46 (5)				10 (1)	3 (1)		9			24 (3)				
	須賀川市	2										2 (1)				
	小計	48 (6)				10 (1)	3 (1)		9			26 (4)				
石川消防署	石川町	547 (34)	1			23 (3)	8	13	57 (2)	1	13 (6)	351 (23)	79			1
	須賀川市	2				2										
	玉川村	8	1			1	1					2	3			
	平田村	10 (1)				3			1			3	3 (1)			
	浅川町	14 (2)				1 (1)			5 (1)			8				
	古殿町	10				2	1					7				
	鏡石町	3 (1)		1					1			1 (1)				
	郡山市	1											1			
小計	595 (38)	2	1		32 (4)	10	13	64 (3)	1	13 (6)	372 (24)	86 (1)				1
玉川分署	玉川村	206 (15)	1	1		9 (2)	4	1	19 (1)		3 (1)	134 (11)	34			
	須賀川市	130 (9)	2 (1)		1 (1)	5	2	2	16 (1)		1	94 (5)	7 (1)			
	鏡石町	6 (1)				2 (1)			1			3				
	石川町	31 (6)	2 (2)			3 (1)			6 (1)			18 (2)	2			
	浅川町	2 (1)										2 (1)				
	平田村	8 (2)				4 (1)			1 (1)			1	2			
小計	383 (34)	5 (3)	1	1 (1)	23 (5)	6	3	43 (4)		4 (1)	252 (19)	45 (1)				
平田分署	平田村	222 (13)				8 (2)	4		24			121 (7)	60			
	須賀川市	6 (1)		1		1						3 (1)	1			
	玉川村	5 (4)	1 (1)		2 (2)					1 (1)		1				
	古殿町	2 (1)				1 (1)						1				
小計	235 (19)	1 (1)	1	2 (2)	10 (3)	4		24		6 (5)	126 (8)	61				
浅川分署	浅川町	203 (5)				4	3	2	28		1	161 (5)	4			
	石川町	76 (4)				4	1		9 (1)		1	52 (3)	9			
	古殿町	4 (1)	2 (1)			1						1				
	鏡石町	1		1												
	棚倉町	2 (1)				1						1 (1)				
小計	286 (11)	2 (1)	1		10	4	2	37 (1)		2	215 (9)	13				
古殿分署	古殿町	174 (15)	1 (1)			7	8		30 (1)		4 (2)	116 (10)	7			1 (1)
	石川町	14 (2)	1	1		2 (1)						6 (1)	4			
	平田村	8				3			1			4				
	浅川町	5 (2)	1 (1)									4 (1)				
小計	201 (19)	3 (2)	1		12 (1)	8		31 (1)		4 (2)	130 (12)	11			1 (1)	
合計	5,037 (418)	27 (15)	12 (1)	9 (5)	346 (44)	76 (2)	34	649 (46)	13 (3)	65 (23)	3,274 (267)	523 (5)	2 (2)			7 (5)

9 市町村別医療機関搬送状況

搬送先		署所		須賀川消防署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	石川消防署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署	計
		回数	人員										
計	回数	1,933	490	576	42	557	349	216	275	182	4,620		
	人員	1,945	492	579	43	560	349	216	278	183	4,645		
須賀川市	回数	1,038	258	291	15	178	175	20	37	35	2,047		
	人員	1,044	260	293	15	179	175	20	37	35	2,058		
天栄村	回数										0		
	人員										0		
鏡石町	回数								1		1		
	人員								1		1		
石川町	回数					21			4	6	31		
	人員					21			5	6	32		
玉川村	回数										0		
	人員										0		
平田村	回数	14	2	4		68	28	81	10	53	260		
	人員	14	2	4		68	28	81	10	53	260		
浅川町	回数								2		2		
	人員								2		2		
古殿町	回数									2	2		
	人員									2	2		
郡山市	回数	741	170	185	4	131	116	94	49	49	1,539		
	人員	746	170	185	4	133	116	94	49	49	1,546		
田村市	回数					1		2			3		
	人員					1		2			3		
白河市	回数	65	24	47	13	119	15	5	119	30	437		
	人員	65	24	48	13	119	15	5	121	31	441		
矢吹町	回数	45	24	38	1	15	8	3	9	1	144		
	人員	46	24	38	2	15	8	3	9	1	146		
塙町	回数	1				7	1		41	5	55		
	人員	1				7	1		41	5	55		
福島市	回数	27	9	11	4	12	5	2	3	1	74		
	人員	27	9	11	4	12	5	2	3	1	74		
二本松市	回数	1	2								3		
	人員	1	2								3		
いわき市	回数	1				5		8			14		
	人員	1				5		8			14		
会津若松市	回数		1		4		1	1			7		
	人員		1		4		1	1			7		
その他	回数				1						1		
	人員				1						1		

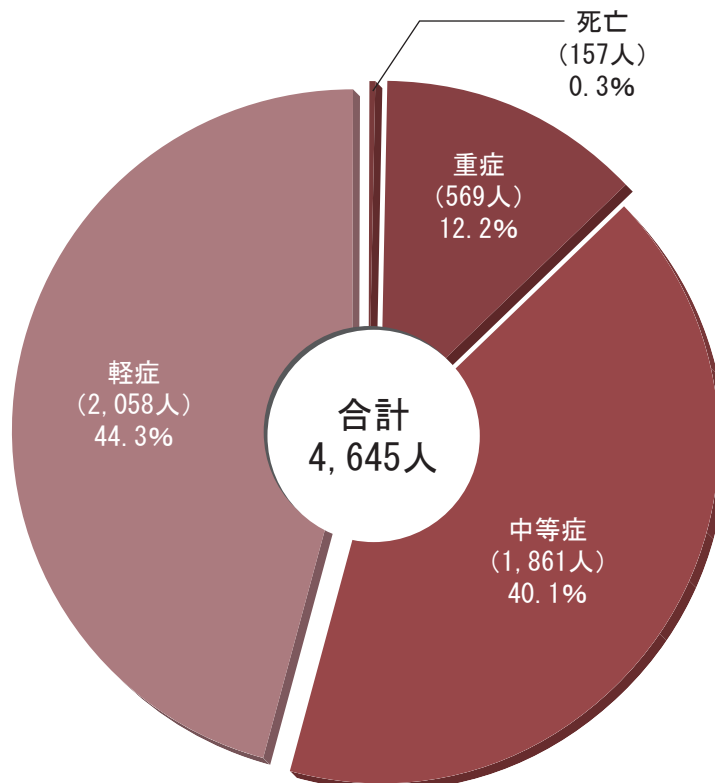
10 年齢区分別搬送・傷病程度別搬送状況

年齢区分別搬送状況

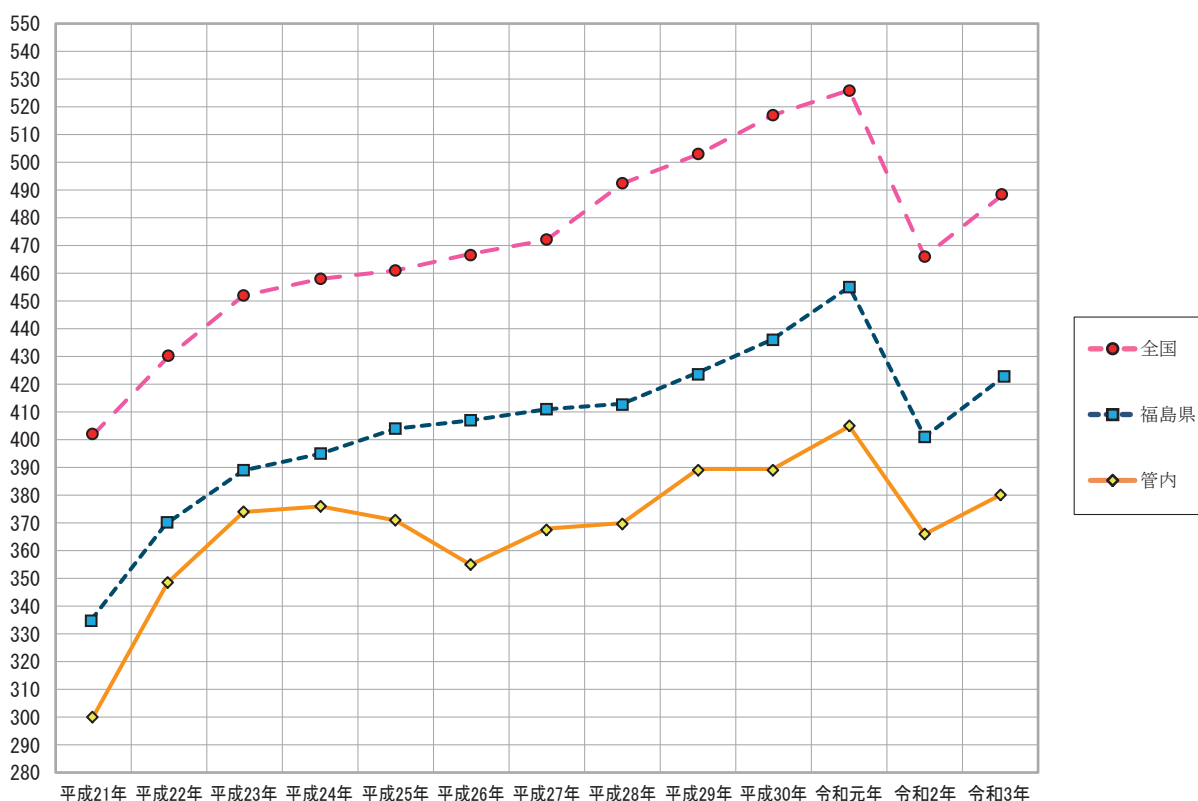


※新生児：生後28日未満 乳幼児：生後28日～7歳未満 少年：満7歳～満18歳未満
成人：満18歳～満65歳未満 高齢者：満65歳以上

傷病程度別搬送状況



11 救急率の推移



(救急率とは人口1万人当たりの救急件数)

年 別	全国	福島県	管内	須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	その他
平成21年	件数 5,125,936 救急率 402	69,169 335	4,397 300	2,269 285	348 273	235 380	614 344	243 334	216 311	212 307	250 411	10
平成22年	件数 5,463,682 救急率 430	75,296 370	5,013 349	2,577 324	462 362	254 411	651 365	259 356	276 398	228 330	295 485	11
平成23年	件数 5,711,102 救急率 452	79,464 389	5,407 374	2,842 356	487 374	251 389	699 401	270 371	280 401	271 384	290 465	17
平成24年	件数 5,802,039 救急率 458	78,705 395	5,352 376	2,836 360	437 338	221 352	760 442	284 396	256 370	260 373	281 459	17
平成25年	件数 5,915,956 救急率 461	79,918 404	5,256 371	2,838 361	468 363	236 379	657 387	303 424	284 416	223 320	235 389	12
平成26年	件数 5,984,921 救急率 467	80,409 407	5,016 355	2,706 345	440 341	223 361	636 377	297 418	243 358	227 328	231 386	13
平成27年	件数 6,054,815 救急率 472	80,851 411	5,166 368	2,883 368	454 353	210 346	645 389	243 348	242 364	236 344	242 411	11
平成28年	件数 6,210,082 救急率 493	80,246 413	5,210 370	2,800 360	460 358	241 408	713 442	242 351	286 444	221 327	239 418	8
平成29年	件数 6,342,147 救急率 504	82,334 424	5,265 389	2,874 370	459 358	247 418	691 428	246 357	258 401	236 350	239 419	15
平成30年	件数 6,608,341 救急率 517	84,757 436	5,385 389	2,930 377	472 368	232 393	685 425	300 435	297 461	233 345	223 390	13
令和元年	件数 6,639,751 救急率 526	84,667 455	5,366 405	2,945 387	477 387	239 449	720 483	276 421	263 433	211 339	222 452	13
令和2年	件数 5,933,390 救急率 466	75,604 401	4,900 366	2,688 352	448 363	208 369	631 418	239 359	239 395	212 334	226 436	9
令和3年	件数 6,193,663 救急率 489	78,737 422	5,037 380	2,780 366	469 370	213 386	672 455	231 352	249 422	224 358	191 379	8

当 該 年 の 救 急 件 数 × 10,000 (小数点第1位四捨五入)
 令和3年1月1日現在の住民基本台帳による人口

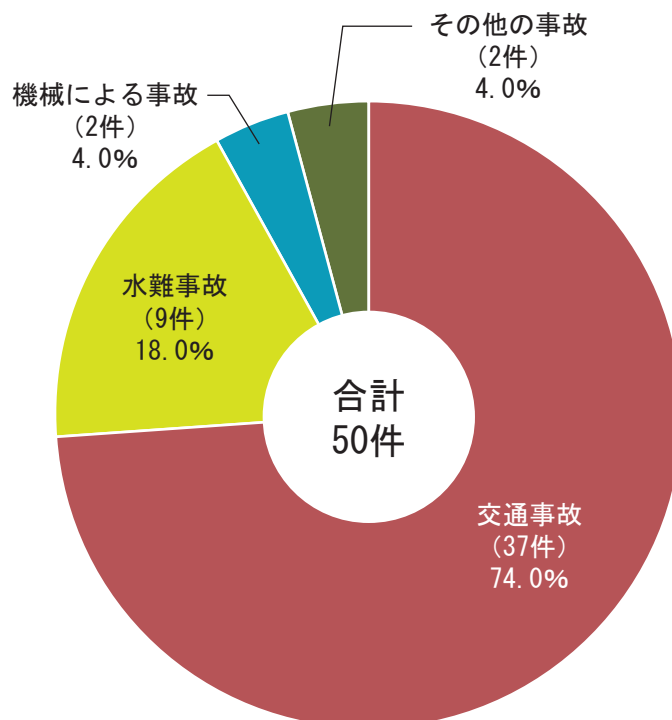
12 救急用機器材の配置状況

種 別	署 所	須賀川消防署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	石川消防署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署	計	備 考
観 察 用 資 器 材	血圧計	3	1	2	1	3	1	1	2	1	15	
	血中酸素飽和度測定器	4	1	1	1	2	1	1	2	1	14	
	生体情報モニタ	1			1	1		1	1		5	
	生体情報モニタ(半自動除細動機能付)	2	1	1		1	1			1	7	
	聴診器	5	5	3	2	6	3	1	2	3	30	
	血糖値測定器	3	1	1		1	1	1	1	1	10	
呼 吸 ・ 環 境 用 資 器 材	吸引器一式	3	1	2	1	3	1	1	3	2	17	
	喉頭鏡	7	2	2	1	6	3	2	3	2	28	
	ビデオ喉頭鏡	7				1					8	
	酸素吸入器一式	6	2	2	2	4	2	2	3	2	25	
	自動式人工呼吸器一式	3	1	1	1	2	1	1	1	1	12	
	自動体外式除細動器	2	2	1	2	3	1	2	2	1	16	
	バグバルブマスク	14	5	4	4	7	6	5	8	9	62	
	マギール鉗子	13	4	6	3	4	5	5	5	4	49	
	呼気二酸化炭素測定器具	2	2	1		4	1			1	11	
	自動式心マッサージ器	3	1	1	1	2	1	1	1	1	12	
ショックパンツ		1	1	1	1	1	1	1	1	8		
創 傷 等 用 資 器 材	陰圧式固定具	3	1	1	1	2	1	1	2	2	14	
	頸椎カラー	25	10	19	8	24	9	8	14	9	126	
保 温 ・ 搬 送 用 資 器 材	メーンストレッチャー	3	1	1	1	2	1	1	1	1	12	
	サブストレッチャー	3	3	1	1	1			1	1	11	
	スクープストレッチャー	5	1	1	1	3	1	1	2	2	17	
	バックボード	8	2	1	1	5	1	1	1	1	21	
感 染 防 止 ・ 消 毒 用 資 器 材	感染防止用キット	66	25	32	18	62	35	30	18	21	307	
	N-95 マスク	4,711	95	230	279	120	210	226	48	260	6,179	
	救急車内養生シート	3	1	1	1	1	2	1	5	3	18	
	滅菌器		2			1					3	
	救急車室内殺菌灯					1				1	2	
	自動式手指消毒器					1					1	
	足踏み式手指消毒器		1				1	1			3	
回転式紫外線殺菌ロッカー	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9		
通 信 用 資 器 材	無線装置	2	1	1	2	2	2	1	3	1	15	
	携帯電話(伝送装置含む)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	10	
	心電図伝送等送受信機器							1			1	
救 出 用 資 器 材	救命浮環	3	3	1	1	1	2	1	2	1	15	
	万能斧	3	2	1	1	2	1	1	3	4	18	
そ の 他 の 資 器 材	トリアージタッグ	319	18	72	49	141	95	49	72	71	886	
	分娩用資器材一式	3	1	1	1	1	1	1	1	1	11	
	リングカッター		1	1		2		1			5	
訓 練 用 資 器 材	気管挿管訓練人形(ACLS人形含)	2				2					4	
	訓練用入形(成人用)	8	1	3	1	8	1	2	2	2	28	
	訓練用入形(乳幼児用)	4	1			4					9	
	AED トレーナー	9				6					15	

13 事故種別救助出動状況

活動内容 事故種別	出動 件数	活動 件数	救助人員			程 度 別									
						死 亡		重 症		中等症		軽 症		その他	
			男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
火 災															
交 通 事 故	37	20	15	8	23	2		3	2	4	3	5	3	1	
水 難 事 故	9	6	1	3	4	1			1		1		1		
風 水 害 等 自然災害事故															
機 械 に よる 事 故	2	1	1		1			1							
建 物 等 による事故															
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故															
破 裂 事 故															
その他の事故	2	1	2		2				1			1			
本 年 合 計	50	28	19	11	30	3		4	4	4	4	6	4	1	
前 年 合 計	36	19	14	8	22	2		1		3	2	7	3	3	
比 較 増 減	14	9	5	3	8	1		3	4	1	2	△1	1	△3	

救助出動の割合



14 救助用機器材の配置状況

種別	署所	須賀川消防署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	石川消防署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署	計	備考
一般救助用具	かぎ付きはしご	2	1			1				1	5	
	三連梯子	6	1	1	1	2	1	1		1	14	
	金属製折りたたみ梯子またはワイヤー梯子	2				1					3	
	空気式救助マット	1				1					2	
	救命索発射銃	1				1					2	
	サバイバースリングまたは救助用縛帯	8	2		2	3	1	2	1		19	
	平担架	1									1	
重量物排除用具	油圧ジャッキ	2			1	1		1		1	6	
	油圧スプレッダー				1					1	2	
	可搬ウィンチ	2	1			1	1	1		1	7	
	マンホール救助器具											
	救命用簡易起重機											
	マット型空気ジャッキ	2				2					4	
	大型油圧スプレッダー	1				1					2	
	救助用支柱器具	1									1	
チェーンブロック												
切断用具	油圧切断機	2			1	1				1	5	
	エンジンカッター	2	2	1	1	2	1	1	1	1	12	
	ガス溶断器	1									1	
	チェーンソー	3	2	2	1	2	1	1	1	1	14	
	鉄線カッター	9	2	2	2	2	1	1	1	2	22	
	空気鋸	1				1					2	
	大型油圧切断機	1				1					2	
	空気切断機	1									1	
コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー												
破壊用具	万能斧	23	6	6	3	6	5	7	4	6	66	
	ハンマー	4	3	2	2	2	1	1	1	2	18	
	携帯用コンクリート破壊器具	1				1					2	
	削岩機											
	ハンマードリル	1				1					2	
検知・測定用具	生物剤検知器											
	可燃性ガス測定器			1						2	3	
	有毒ガス測定器	4	2	2	2	3	2	2	2	2	21	
	酸素濃度測定器	1								1	2	
	放射線測定器	4	12	10	7	21	6	10	2	10	82	
呼吸保護用具	空気呼吸器	20	5	4	4	9	4	4	4	4	58	
	空気補充用ポンペ	92	12	8	8	29	8	8	8	8	181	
	酸素呼吸器	9									9	
	簡易呼吸器	2									2	
	防塵マスク	45	19		9						73	
	送排風機	2									2	
エアラインマスク												
隊員保護用具	耐電手袋	10	4	4	4	6	2	2	6	4	42	
	耐電衣	4				2					6	
	耐電ズボン	4				2					6	
	耐電長靴	10	6	4	4	6	2	2	6	4	44	
	防塵メガネ	2	5	5	6	2	4			11	35	
	携帯警報器	18	4	3	2	8	3	3	3	3	47	
	防毒マスク		3			4					7	
	化学防護服(陽圧式化学防護服を除く)	8				11	46				65	
	陽圧式化学防護服	6				4					10	
	耐熱服	4									4	
	放射線防護服											
特殊ヘルメット												

種別	署所	須賀川消防署	長沼分署	鏡石分署	湯本分遣所	石川消防署	玉川分署	平田分署	浅川分署	古殿分署	計	備考
隊員保護用具	除染シャワー 除染剤散布器											
水難救助用具	潜水器具	14									14	
	救命胴衣	35	5	8	3	17	8	4	8	4	92	
	水中投光器	1									1	
	救命浮環標	8	2		2	1		1		1	15	
	救命ボート	7				5					12	
	救命ボート	4				1					5	
	船外機	3				1					4	
	水中スクーター											
山岳救助用具	水中無線機											
	水中時計	11									11	
	水中テレビカメラ											
登山器具												
バスケット型担架	4				1					5		
検索用具	簡易画像探索器	1	1	1	1			1	1	1	7	
高度救助用具	画像探索器											
	地中音響探知機											
	熱画像直視装置	2		1		1					4	
	夜間用暗視装置											
	電磁波探査装置											
	二酸化炭素探査装置											
	水中探査装置											
その他の救助用具	地震警報器											
	投光器	7	3	1	2	3	2	2	1	2	23	
	携帯投光器	8	2	1	1	3	1	1	1	2	20	
	携帯拡声器	10	4	3	3	4	2	10	3	2	41	
	携帯無線機	12	4	2	2	19	5	2	2	3	51	
	応急処置用セット	4	1	1	1	2		1	1	1	12	
	車両移動器具	1									1	
	緩降機	1									1	
	ロープ登降機	10									10	
その他	救助用降下機	2									2	
	発電機	7	3	2	2	3	2	3	2	1	25	
	大型ブローアー ウォーターカッター											

予

防



令和3年度 火災予防絵画・ポスターコンクール



幼年消防クラブ防災施設見学

お出かけは マスク戸締り 火の用心

令和4年度 防火標語

1 市町村別防火対象物

防火対象物の別		市町村別									計
		須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町		
1 項	イ	劇場・映画館等	3	1			1				5
	ロ	公会堂・集会場	85	15	22	10	13	9	11	12	177
2 項	イ	キャバレー・ナイトクラブ等				1					1
	ロ	遊技場・ダンスホール	13			3		1	1		18
	ハ	風俗営業店等									
	ニ	カラオケボックス等、その他個室利用店舗				1					1
3 項	イ	待合・料理店等	3			2	2		1		8
	ロ	飲食店	52	2	5	4	2	3	2	1	71
4 項		百貨店・マーケット 展示場等	128	19	6	29	15	7	7	5	216
5 項	イ	旅館・ホテル等	20	6	28	20	3	2		3	82
	ロ	寄宿舍・共同住宅等	515	98	19	48	27	7	20	9	743
6 項	イ	病院・診療所等	70	8	2	7	2	3	3	1	96
	ロ	老人短期入所施設等	29	4	2	6	2	4		3	50
	ハ	老人デイサービスセンター等	66	9	5	14	5	4	2	2	107
	ニ	幼稚園・特別支援学校	10	2	1	2	2				17
7 項		小・中・高・大学校等	79	15	13	15	7	6	7	3	145
8 項		図書館・美術館等	8	1	1	1		1	3	1	16
9 項	イ	蒸気浴場・熱気浴場									
	ロ	9項イ以外の公衆浴場		2							2
10 項		車両の停車場等					1				1
11 項		神社・寺院・教会等	13	1		4				3	21
12 項	イ	工場・作業場	501	160	55	105	57	59	94	63	1,094
	ロ	映画スタジオ テレビスタジオ									
13 項	イ	自動車庫庫・駐車場	12	2	4	3	2	1	1	3	28
	ロ	飛行機等格納庫					3				3
14 項		倉庫	254	42	14	43	16	11	26	14	420
15 項		前各項に該当しない事業所	240	41	40	93	66	60	33	24	597
16 項	イ	1～4項まで、5項イ、6項 9項イの存する複合対象物	125	10	11	26	6	4	3		185
	ロ	16項イ以外の用途に共する 部分の存する複合対象物	47	4	2	12	2	3	1	2	73
17 項		重要文化財・重要有形民俗文化財・史跡	1			1					2
計			2,274	442	230	450	234	185	215	149	4,179

※防火対象物は、建物の棟数で計上

2 市町村別危険物施設

製造所等の別		市町村								
		須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	計
製造所		7	2		1					10
貯蔵所	屋内貯蔵所	45	16	5	11	7	3	5	1	93
	屋外タンク貯蔵所	28	2	2	8	1	2	1		44
	屋内タンク貯蔵所	6			1	1				8
	地下タンク貯蔵所	63	9	11	21	6	6	1	2	119
	簡易タンク貯蔵所									
	移動タンク貯蔵所	47	12	6	5	2	3	2	3	80
	屋外貯蔵所	5	4	1	1	1	1		1	14
	小計	194	43	25	47	18	15	9	7	358
取扱所	給油取扱所	56	9	8	15	6	7	3	8	112
	販売取扱所									
	移送取扱所									
	一般取扱所	58	6	2	14	7	4	3	4	98
	小計	114	15	10	29	13	11	6	12	210
合計		315	60	35	77	31	26	15	19	578

(注) 施設数は、完成検査済証交付施設(令和4年3月31日現在)

3 建築確認同意状況

用途別		月												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
総件数（件）		8	11	8	8	8	16	8	13	9	7	15	8	119
同意（件）		8	10	8	8	7	13	5	11	9	7	14	8	108
指導同意（件）			1			1	3	3	2			1		11
不同意（件）														0
特殊建築物	新築	1	2	3	2	1	4	5	3	3	1	6	2	33
	増改築	2	3	1	1	1			1	1	1	1	1	13
専用住宅	新築	1	1	3	1	1	2		1	4		1	1	16
	増改築													0
併用住宅	新築						2		1				1	4
	増改築													0
店	新築													0
	増改築													0
その他の建築物	新築	4	4		2	5	8	3	7	1	5	7	3	49
	増改築		1	1	2									4

1 特殊建築物欄は、150㎡以上の特殊建築物数（150㎡以上の特殊建築物を有する併用住宅数を含む。）

2 併用住宅欄は、150㎡以下の特殊建築物を有する併用住宅数

3 店舗欄は、150㎡以下であって店舗併用住宅以外の建築物数

4 その他の建築物欄は、上記の1、2、3及び専用住宅以外の建築物数

4 市町村別三階以上の建築物棟数

市町村	階数										
	計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階
須賀川市	295	210	41	25	8	3	3	3	1		1
鏡石町	26	16	7	1		2					
天栄村	9	7	1	1							
石川町	43	28	10	3	1		1				
玉川村	17	14	2	1							
平田村	6	4	2								
浅川町	10	8		2							
古殿町	5	5									
計	411	292	63	33	9	5	4	3	1		1

5 広報・広聴活動実施状況

実施状況		回数	内 容 又 は 対 象
行 事			
防 火 座 談 会 (防 火 映 画)		35	防火講話、防火講習会、花火教室等 (地区住民、事業所、学校、女性消防隊等)
消 防 施 設 見 学		34	庁舎・施設・車両等見学、職場体験 (保育所、幼稚園、小学校、中学校等)
消 防 訓 練 { 消火器取扱訓練 } { 避難訓練 } { 起震車体験 }		191	通報訓練、避難訓練、起震車体験、消火訓練等 (地区住民、事業所、学校、女性消防隊等)
車 両 広 報		671	ポンプ車、広報車等により実施
防 火 広 報 紙		39	火災予防のPR、応急処置等
防 火 ポ ス タ ー 展		9	火災予防のPR (公共施設、百貨店、文化祭等に展示) (保育所、幼稚園、小・中学校を対象)
防 火 看 板		381	火災予防運動、山火事防止運動のPR、危険物安全週間
横断幕・懸垂幕 のぼり旗掲出		393	火災予防のPR
応急手当 普及啓発 講 習	上級救命講習Ⅰ (8時間)	1	心肺蘇生法(成人・小児・乳児・新生児を対象)、大出血時の止血法、傷病者管理法、外傷の手当、搬送法 住民、特別養護老人ホーム職員、事業所等
	普通救命講習Ⅰ (3時間)	11	心肺蘇生法(主に成人を対象)、大出血時の止血法 住民、事業所、中学生・高校生等
	普通救命講習Ⅱ (4時間)	1	心肺蘇生法(主に成人を対象)、大出血時の止血法、試験 住民、事業所等
	普通救命講習Ⅲ (3時間)		心肺蘇生法(主に小児・乳児・新生児を対象)、大出血時の止血法 住民、幼稚園・保育園職員等
	救命入門コース (90分)	6	胸骨圧迫及びAEDの取扱い 住民、事業所、小学生・中学生・高校生等
	一般救急法講習	22	心肺蘇生法、止血法、その他応急処置の要望に応じて 住民、事業所等

通信指令

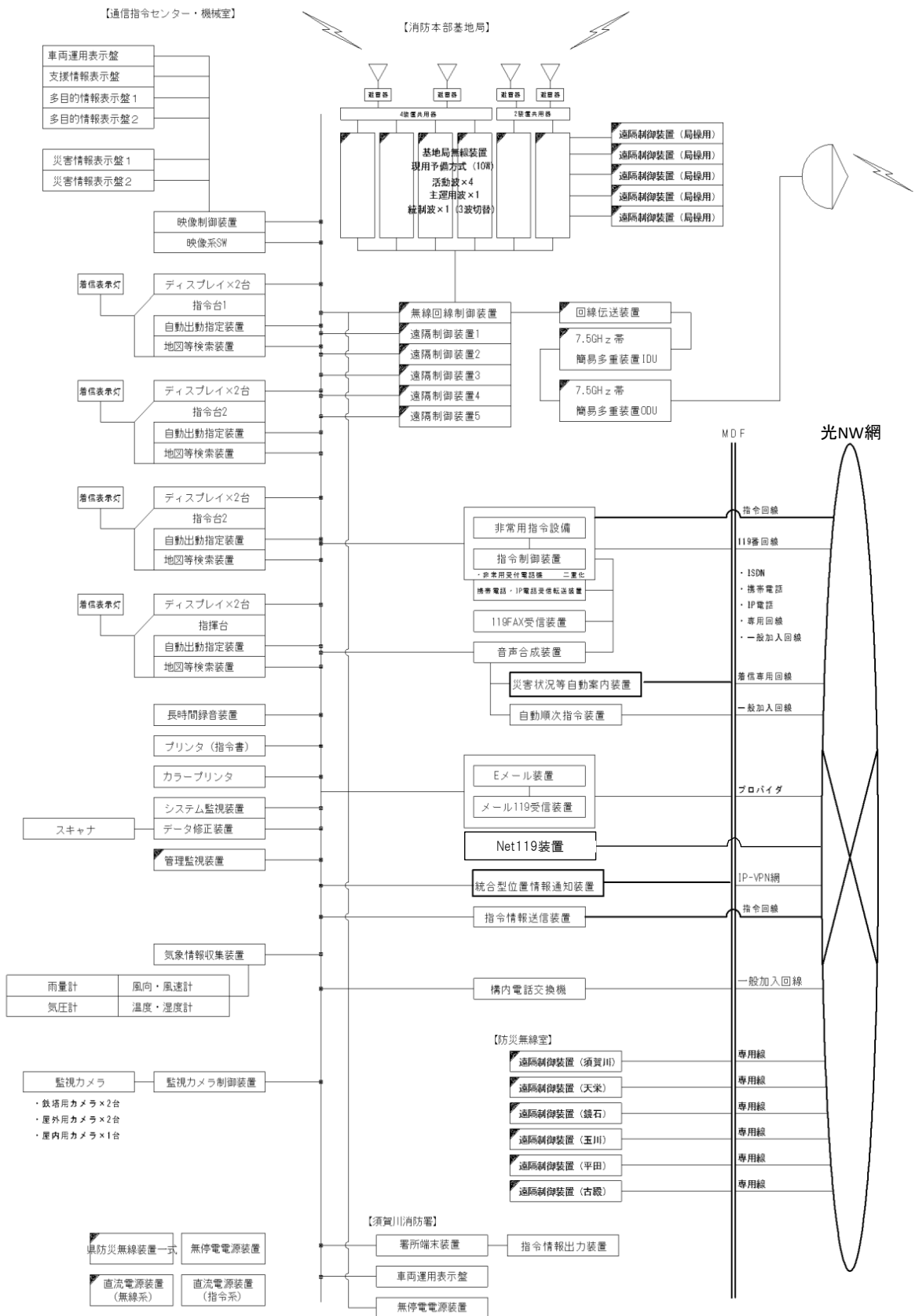


須賀川地方広域消防組合 高機能消防指令センター

1 消防通信施設等

区分 内 訳	計	消 防 本 部	沢 又 山 中 継 所	芝 草 中 継 所	鎌 倉 中 継 所	須賀川消防署				石川消防署				
						本 署	長 沼 分 署	鏡 石 分 署	湯 本 分 遣 所	本 署	玉 川 分 署	平 田 分 署	浅 川 分 署	古 殿 分 署
消防救急指令台	4	4												
119番専用電話 (携帯電話を含む)	8	8												
専用回線 (高速道路、119FAX)	2	2												
順次指令装置	1	1												
衛星通信回路	1	1												
ファクシミリ回線	11	2				1	1	1	1	1	1	1	1	1
気象観測装置	1	1												
消防情報センター	20	20												
地図等検索装置	13	4				1	1	1	1	1	1	1	1	1
災害時通信用携帯電話	20	5				4	2	1	1	3	1	1	1	1
デジタル無線設備	固定局	5	1	2	1	1								
	基地局	4	1	1	1	1								
	移動局 (陸上移動局)	53	1				15	5	4	3	9	4	4	4
	携帯局 (携帯局)	46	7				13	4	3	2	5	3	3	3
アナログ無線設備	基地局	0												
	陸上移動局 (車載型)	0												
	陸上移動局 (携帯局)	3	3											
無線従事者	第1級陸上	3	2								1			
	第2級陸上	37	5				10	3	2	1	6	3	3	1
	第3級陸上	162	27				38	16	11	8	21	9	10	12

2 高機能消防指令センターシステム系統図



3 通報受付状況

災害 種別 月別	火災		救急		救助		その他		問い合わせ		いたずら		間違い		重複		テスト		要請取消		合計	
	119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番		119番	
	固定	携帯	固定	携帯	固定	携帯	固定	携帯	固定	携帯	固定	携帯	固定	携帯	固定	携帯	固定	携帯	固定	携帯	固定	携帯
	119番以外		119番以外		119番以外		119番以外		119番以外		119番以外		119番以外		119番以外		119番以外		119番以外		119番以外	
1月	4		390		3		7		67		3		28		29		45		20		596	
	1	3	233	157	1	2	2	5	22	45	0	3	9	19	9	20	42	3	6	14	325	271
	0		41		2		17		0		0		0		0		0		1		61	
2月	3		352		1		12		36		8		31		30		56		31		560	
	0	3	204	148	0	1	4	8	8	28	0	8	7	24	16	14	51	5	8	23	298	262
	0		49		2		14		0		0		0		0		0		2		67	
3月	9		354		3		8		47		4		51		43		86		13		618	
	5	4	203	151	2	1	5	3	17	30	0	4	14	37	12	31	62	24	5	8	325	293
	0		29		0		13		0		0		0		0		0		2		44	
4月	2		397		6		8		49		5		32		24		71		12		606	
	2	0	215	182	1	5	4	4	20	29	2	3	13	19	9	15	61	10	2	10	329	277
	1		35		0		21		0		0		0		0		0		0		57	
5月	1		373		6		9		55		1		40		26		60		9		580	
	0	1	223	150	0	6	4	5	11	44	0	1	9	31	10	16	44	16	3	6	304	276
	1		43		2		9		0		0		0		0		0		0		55	
6月	6		354		1		6		57		1		32		16		72		1		546	
	1	5	201	153	0	1	4	2	15	42	0	1	5	27	3	13	51	21	0	1	280	266
	0		39		1		10		0		0		0		0		0		0		50	
7月	2		387		2		9		70		0		27		36		61		7		601	
	0	2	194	193	1	1	6	3	22	48	0	0	4	23	10	26	45	16	3	4	285	316
	1		36		0		14		0		0		0		0		0		0		51	
8月	1		429		4		5		70		1		23		31		48		10		622	
	1	0	224	205	2	2	3	2	19	51	0	1	7	16	9	22	33	15	2	8	300	322
	0		48		2		19		0		0		0		0		0		0		69	
9月	1		354		2		6		68		9		27		33		55		9		564	
	1	0	179	175	0	2	3	3	26	42	8	1	7	20	5	28	45	10	2	7	276	288
	2		39		3		12		0		0		0		0		0		0		56	
10月	1		383		2		14		59		4		55		24		128		7		677	
	1	0	203	180	1	1	6	8	23	36	1	3	24	31	4	20	110	18	3	4	376	301
	1		41		2		11		0		0		0		0		0		0		55	
11月	1		380		2		6		36		2		27		27		98		9		588	
	0	1	230	150	0	2	4	2	13	23	1	1	4	23	5	22	90	8	4	5	351	237
	0		37		0		11		1		0		0		1		0		0		50	
12月	4		403		3		8		61		1		35		18		48		22		603	
	2	2	226	177	0	3	2	6	30	31	0	1	19	16	5	13	39	9	10	12	333	270
	0		44		1		13		0		0		0		0		0		0		58	
合計	35		4,556		35		98		675		39		0		337		828		150		6,753	
	14	21	2,535	2,021	8	27	47	51	226	449	12	27	0	0	97	240	673	155	48	102	3,660	3,093
	6		481		15		164		1		0		0		1		0		5		673	

4 消防情報センター利用状況

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回数	4,450	4,443	10,737	3,702	4,523	4,103	3,713	3,544	3,174	5,720	2,993	3,892	54,994

※ 火災の問い合わせは、消防情報センター(0248-76-8181)をご利用ください。

5 气象状况

月 区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
		气温 ℃	平均	0.6	3.1	8.4	11.1	16.9	20.9	24.2	24.9	19.6	15.1	9.2
最高	11.2		19.0	23.1	23.1	26.9	30.8	37.0	36.7	29.9	28.6	20.1	14.8	37.0
起日	1月27日		2月22日	3月29日	4月20日	5月14日	6月10日	7月19日	8月4日	9月23日	10月5日	11月2日	12月12日	
最低	-8.9		-6.8	-3.9	-0.2	5.9	13.9	18.1	16.3	12.1	3.1	-2.8	-5.5	
起日	1月10日		2月1日	3月9日	4月11日	5月12日	6月18日	7月1日	8月15日	9月28日	10月25日	11月30日	12月27日	
平均湿度		67.5	61.4	60.4	57.7	66.9	74.6	81.7	80.3	81.3	78.1	73.6	70.3	71.2
降雨量 mm	合計	6.5	37.0	116.5	68.5	73.0	94.0	194.5	216.5	112.0	112.5	42.5	76.0	合計 1149.5 年平均 95.8
	1日最大	2.0	29.5	45.5	32.5	18.5	26.0	46.0	54.5	23.5	46.0	24.5	35.5	54.5
	起日	1月30日	2月15日	3月21日	4月29日	5月21日	6月24日	7月22日	8月13日	9月1日	10月1日	11月9日	12月1日	
天候 日数	晴	11	15	19	19	11	10	11	15	12	16	21	14	174
	曇	17	11	8	10	18	18	19	12	15	12	8	15	163
	雨		1	4	1	2	2	1	4	3	3	1	1	23
	雪	3	1										1	5
最多風向		南	北西	北北西	南	北北西	南	南	北	南	南	北西	西北西	北西
風速 m/s	平均	1.9	2.5	2.6	2.7	2.2	2.1	1.8	2.1	1.9	1.9	1.5	2.2	2.1
	最大瞬間	24.4	24.0	23.6	19.8	19.2	15.4	18.2	16.7	14.4	16.7	13.5	22.5	24.4
	風向	西北西	北西	北北西	西南西	西北西	南	南東	南西	南南西	西	西北西	北西	西北西
	起日	1月7日	2月11日	3月3日	4月18日	5月3日	6月4日	7月22日	8月10日	9月30日	10月20日	11月24日	12月26日	

消防団



古殿町消防団出初式

1 市町村消防団幹部名簿

令和4年4月1日現在

市町村	職	氏名	備考
須賀川市	団長	善方明夫	福島県消防協会須賀川支部支部長
	副団長	五十嵐伸	〃 評議員
	副団長	関根栄治	〃 監事
	副団長	小林利之	〃 評議員
鏡石町	団長	添田孝利	福島県消防協会須賀川支部理事
	副団長	影山圭一郎	〃 監事
	副団長	鈴木勝	〃 評議員
天栄村	団長	常田広美	福島県消防協会須賀川支部副支部長
	副団長	木野清秀	〃 評議員
	副団長	兼子浩一	〃 評議員
石川町	団長	佐藤正一	福島県消防協会石川支部理事
	副団長	小林裕明	〃 監事
	副団長	芳賀元春	〃 評議員
玉川村	団長	佐久間福男	福島県消防協会石川支部理事
	副団長	大野政幸	〃 監事
	副団長	関根和美	〃 評議員
平田村	団長	瀬谷文雄	福島県消防協会石川支部理事
	副団長	鈴木孝	〃 評議員
	副団長	澤村兼人	〃 評議員
浅川町	団長	小室勝弘	福島県消防協会石川支部副支部長
	副団長	岡田辰夫	〃 評議員
	副団長	金成靖	〃 評議員
古殿町	団長	白川充一	福島県消防協会石川支部支部長
	副団長	矢内忠徳	〃 評議員
	副団長	遠藤幸夫	〃 評議員

2 市町村消防団員階級別実員

市町村 職	須賀 川市	鏡 石 町	天 栄 村	石 川 町	玉 川 村	平 田 村	浅 川 町	古 殿 町	計
団 長	1	1	1	1	1	1	1	1	8
副 団 長	3	2	2	2	2	2	2	2	17
総務部長 庶務部長	1	1			1	1			4
訓練部長 訓練指導員	5	3	2	2	2	2	2	2	20
分 団 長	13	8	4	7	11	5	6	3	57
副分団長	10	8	4	8	11	4	6	3	54
部 長	67	13		40		4		12	136
副 部 長				29					29
班 長	77	9	22	87	34	20	17	47	313
副 班 長			21				17		38
団 員	678	90	120	250	190	172	196	166	1,862
計	855	135	176	426	252	211	247	236	2,538

3 市町村消防団員の勤続年数

市 町 村 年 数	須 賀 川 市	鏡 石 町	天 栄 村	石 川 町	玉 川 村	平 田 村	浅 川 町	古 殿 町	計
5 年 未 満	167	31	30	70	53	22	45	52	470
5年以上～10年未満	170	39	45	124	65	48	40	37	568
10年以上～15年未満	183	29	43	108	74	54	52	58	601
15年以上～20年未満	190	21	30	72	53	48	63	46	523
20年以上～25年未満	104	12	16	39	7	28	40	33	279
25年以上～30年未満	30	3	6	10		7	5	6	67
30年以上～35年未満	9		5	3		1	2	3	23
35年以上～40年未満	2					1			3
40年以上～45年未満			1			2		1	4
45年以上～50年未満									
50 年 以 上									
計	855	135	176	426	252	211	247	236	2,538
平均勤続年数	12.3	10.8	10.8	11.2	9.9	13.27	12.8	12.3	11.7

4 市町村消防団員の年齢

市町村 年 齢	須賀川市	鏡石町	天栄村	石川町	玉川村	平田村	浅川町	古殿町	計
20 歳 未 満	2		1		1		3		7
20歳以上～25歳未満	44	16	10	11	15	9	15	2	122
25歳以上～30歳未満	117	20	31	58	48	23	23	11	331
30歳以上～35歳未満	173	36	41	102	58	37	46	39	532
35歳以上～40歳未満	236	38	44	126	78	55	56	60	693
40歳以上～45歳未満	149	19	22	72	43	44	66	57	472
45歳以上～50歳未満	63	4	14	43	6	37	26	26	219
50歳以上～55歳未満	26		8	9	3	2	6	7	61
55歳以上～60歳未満	16	1	4	3		2	2	14	42
60歳以上～65歳未満	16	1		2		2	3	6	30
65歳以上～70歳未満	11						1	14	26
70 歳 以 上	2		1						3
計	855	135	176	426	252	211	247	236	2,538
平 均 年 齢	37.2	33.6	35.9	36.4	34.3	37.7	37.3	41.9	36.8

5 非常備消防力の配備状況

区分 市町村	分団数	定数	実員	消防 ポンプ 自動車	小型動力 ポンプ付 積載車	小型動力 ポンプ	消防ポンプ1台あたり			団員1人あたり	
							人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
須賀川市	13	1,221	855	14	59	7	937.0	375.6	3.5	87.7	35.1
鏡石町	9	208	154	5	8		938.9	339.8	2.4	79.3	28.7
天栄村	4	244	176	4	18		244.0	89.7	10.3	30.5	11.2
石川町	6	527	426	9	20	2	460.1	182.0	3.7	33.5	13.2
玉川村	11	305	252	2	10	2	445.7	156.0	3.3	24.8	8.7
平田村	4	250	211	3	17		284.5	109.2	4.7	27.0	10.4
浅川町	6	311	247	2	14	17	320.4	114.2	2.0	24.6	8.8
古殿町	3	304	236	5	6	23	141.9	50.3	4.8	20.4	7.2
計	56	3,370	2,557	44	152	51	3,773	1,417	35	328	123

消 防 年 報

(令 和 4 年 版)

発 行	須賀川地方広域消防組合
編 集	消防本部警防課 〒962-0022 福島県須賀川市丸田町153番地 TEL 0248-76-3111 FAX 0248-75-3917
発行年月	令和4年10月
印 刷	有限会社 和田印刷 〒962-0057 福島県須賀川市袋田字守子92-8 TEL 0248-75-2256 FAX 0248-73-4004